

令和5年度 第1回 湯沢市総合振興計画審議会

日時：令和5年7月31日（月）午後2時

場所：湯沢市役所 本庁舎4階 会議室41

次 第

1 開 会

2 任命書交付

3 市長あいさつ

4 会長あいさつ

5 案 件

(1) 第2次湯沢市総合振興計画の令和4年度実績について

(2) 湯沢市過疎地域持続的発展計画の令和4年度実績について

6 その他

7 閉 会

湯沢市総合振興計画審議会 委員名簿（任期：R4.4.1～R6.3.31）

No.	区分		所属	役職名	氏名
1	1号委員	公共的団体	湯沢商工会議所	会頭	和賀 幸雄
2	1号委員	公共的団体	ゆざわ小町商工会	会長	佐藤 正明
3	1号委員	公共的団体	こまち農業協同組合	理事	佐々木 房子
4	1号委員	公共的団体	湯沢市観光物産協会	専務理事	山脇 幹
5	1号委員	公共的団体	湯沢青年会議所	理事長	上野 佑太
6	1号委員	公共的団体	湯沢市雄勝郡医師会	副会長	高橋 章
7	1号委員	公共的団体	湯沢市社会福祉協議会	副会長	高橋 みどり
8	1号委員	公共的団体	湯沢市体育協会	湯沢市スキー連盟	村上 聖子
9	2号委員	自治組織	湯沢地区自治協議会	会長	高橋 好男
10	2号委員	自治組織	湯沢7地区自治連絡協議会	会長	菊地 正
11	2号委員	自治組織	稲川地域自治連絡協議会	副委員長	遠藤 幸作
12	2号委員	自治組織	雄勝野づくり連絡協議会	副会長	高嶋 江美子
13	2号委員	自治組織	皆瀬地域自治組織地域づくり委員会	会長	小野田 敏昭
14	3号委員	知識経験者	NPO法人サポートセンター・ビーイング	理事長	寺門 敏子
15	3号委員	知識経験者	合同会社トマトクリエイション		築瀬 栄美子
16	4号委員	市長が必要と認める者	旅のわツアー	代表	齋藤 あゆみ

令和4年度 総合振興計画進捗管理シート	No.1	主な担当課所	企画課、まちづくり協働課
---------------------	------	--------	--------------

基本目標	総合振興計画の5つの基本目標・22の分野ごとに No.1～22までのシートを作成しています。 施策欄・・・総合振興計画に掲げる、各分野の施策を記載しています。 取組概要欄・・・各分野の取組内容を簡潔に記載しています。	りの推進
施策		者と女性の活躍推進
取組概要		丈夫なまちに育てます。

施策	事業名	担当課所	主な取組の成果・課題	
			成果	課題
①	官民連携推進費	まちづくり協働課	●官民連携推進費 株式会社スペースマーケットと連携協定を締結後、公共施設予約のオンライン化を検討し、令和4年10月から2施設でオンライン予約システムを試験導入した。	
①	地域自治組織支援事業	まちづくり協働課	●地域自治組織支援事業 地域協議会及び地区組織において地域自治組織交付金が有効に活用されており、地域の実情に則した住民主体の地域づくり活動が継続的に行われている。また、令和5年度において、地域の課題解決による地域力の更なる向上を図るため、地域づくり事業交付金の対象となる事業を追加したほか、地区組織が実施する事業への交付金枠を新設した。	
①	市民活動団体育成事業	まちづくり協働課		
①	コーディネーター・CB育成事業	まちづくり協働課	●地域づくりモデル事業 「湯沢市地域行動プログラム」に基づき、地域課題の把握と解決に向けて、専門家からアドバイスをいただきながら対象地区における全住民アンケート調査等を実施した。	
①	地域雪対策			
①	地域づくり			者と女性の視点で市の参画機会を確保する盛り上げようと多数のイ...ことができた。
②	地域女性活			最大10年間に延長したほ...金を交付した。
②	若者女性活			
②	未来投資型人材育成事業	まちづくり協働課	●ふるさと納税推進事業 新たに2つのふるさと納税ポータルサイトを活用(三越伊勢丹、JRE)し、寄附額の増加並びに本市のファンの増加を図った。また、寄附者の利便性向上のため、ワンストップ特例申請に関するシステムの導入を行い、オンラインでワンストップ特例申請が可能となった。	
③	ふるさと納税推進事業	企画課		
③	移住・定住促進事業	まちづくり協働課	●移住・定住促進事業 主に首都圏からの本市との繋がりをもちたい、応援したい方々との繋がりが関わりや関わり合いの機会を提供するゆざわローカルアカデミー(第4期生)を開催し、現地フィールドワークや報告会などを通じて、地域との関係性の構築や関わりを深めることが出来た。また、人出不足に悩む市内事業者と地域との交流機会を求める市外在住者のマッチング支援を行い、地域と事業者の雇用ニーズを解消することに努めた。将来的な移住促進や地域の担い手創出に向け、継続的に地域との関係性の構築を図ることが重要である。	
③	ワーケーション推進事業	まちづくり協働課		

分野ごとに、主な事業の取組の成果・課題を記載しています。
 (スペースの都合上、全ての事業について記載することができませんので、令和4年度の新規事業や、特徴的な取組のあった事業などを中心に記載しています。)

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
まちづくりコーディネーター育成数	累計	人	7	0 7					17	41.2%	
新たな仕組みによりまちづくりに取り組む地区数	単年度	地区	-	3					2	150.0%	後期新規KPI
地域課題											
委員が男											
移住世帯											
ふるさと納税を活用したガバメントクラウドファンディングによる起業支援数	累計	件	1	0 1					6	16.7%	後期新規KPI
湯沢市でテレワーク(ワーケーション)に取り組む事業所数	累計	事業所	2	1 1					5	20.0%	後期新規KPI

分野ごとに、重要業績評価指標(KPI)の実績値を記載しています。
 実績値欄の上段は単年度(R4)の実績、下段は累計の実績を表しています。
 達成率欄は、R8年度の目標値に対するR4年度の実績値の割合を表しています。
 ※KPI・・・施策の取組状況の検証と評価を行うために設定する客観的な数値指標

市民満足度調査	R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
	満足度	順位	満足度	順位	満足度	順位	満足度	順位	満足度	順位
1 市										
2 年										
3 移住定住促進	重要度	64.5%	19							

各分野に関連する、令和5年度の市民満足度調査の結果を記載しています。
 満足度・・・施策の取組について、「満足」「やや満足」と回答した方の割合
 重要度・・・施策について、「重要」「やや重要」と回答した方の割合
 順位・・・満足度・重要度それぞれについて、市民満足度調査の32施策中の順位

基本目標	1. みんなの信頼で築く丈夫なまち	分野	(1) 共創・協働によるまちづくりの推進
施策	① 共創と協働の取組の推進 ③ 他地域から本市への新たな人の流れの創出		② 男女共同参画社会の形成及び若者と女性の活躍推進
取組概要	市民・民間団体・行政など全ての関係者と、若者から高齢者まで多世代の力を合わせるにより課題を克服し、丈夫なまちに育てます。		

施策	事業名	担当課所
①	官民連携推進費	まちづくり協働課
①	地域自治組織支援事業	まちづくり協働課
①	市民活動団体育成事業	まちづくり協働課
①	コーディネーター・CB育成事業	まちづくり協働課
①	地域雪対策支援事業	まちづくり協働課
①	地域づくりモデル事業	まちづくり協働課
②	地域女性活躍推進事業	まちづくり協働課
②	若者女性活躍推進事業	まちづくり協働課
②	未来投資型人材育成事業	まちづくり協働課
③	ふるさと納税推進事業	企画課
③	移住・定住促進事業	まちづくり協働課
③	ワーケーション推進事業	まちづくり協働課

主な取組の成果・課題
<p>●官民連携推進費 株式会社スペースマーケットと連携協定を締結後、公共施設予約のオンライン化を検討し、令和4年10月から2施設でオンライン予約システムを試験導入した。</p> <p>●地域自治組織支援事業 地域協議会及び地区組織において地域自治組織交付金が有効に活用されており、地域の実情に則した住民主体の地域づくり活動が継続的に行われている。また、令和5年度において、地域の課題解決による地域力の更なる向上を図るため、地域づくり事業交付金の対象となる事業を追加したほか、地区組織が実施する事業への交付金枠を新設した。</p> <p>●地域づくりモデル事業 「湯沢市地域行動プログラム」に基づき、地域課題の把握と解決に向けて、専門家からアドバイスをいただきながら対象地区における全住民アンケート調査等を実施した。</p> <p>●若者女性活躍推進事業 若者や女性が輝くまちづくり推進協議会では、これからの担う若者と女性の視点で市の施策等について協議し、市長への答申を行うなどまちづくり等への参画機会を確保することができた。また、若者女性未来応援助成金を活用し、湯沢を盛り上げようと多数のイベントが開催され、地域間の世代間交流やにぎわい創出へ繋げることができた。</p> <p>●未来投資型人材育成事業 若い世代の定住促進を図るため、奨学金返還助成金の期間を最大10年間に延長したほか、奨学金返済をしている社員を支援する事業所に対しても助成金を交付した。</p> <p>●ふるさと納税推進事業 新たに2つのふるさと納税ポータルサイトを活用(三越伊勢丹、JRE)し、寄附額の増加並びに本市のファンを増やした。また、寄附者の利便性向上のため、ワンストップ特例申請に関するシステムの導入を行い、オンラインでワンストップ特例申請が可能となった。</p> <p>●移住・定住促進事業 主に首都圏からの本市との繋がりを持ちたい、応援したい方々との繋がりや関わりの機会を提供するゆざわローカルアカデミー(第4期生)を開催し、現地フィールドワークや報告会などを通じて、地域との関係性の構築や関わりを深めることが出来た。また、人出不足に悩む市内事業者と地域との交流機会を求める市外在住者のマッチング支援を行い、地域と事業者の雇用ニーズを解消することに努めた。将来的な移住促進や地域の担い手創出に向け、継続的に地域との関係性の構築を図ることが重要である。</p>

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
まちづくりコーディネーター育成数	累計	人	7	0 7					17	41.2%	
新たな仕組みによりまちづくりに取り組む地区数	単年度	地区	-	3					2	150.0%	後期新規KPI
地域課題解決のための官民連携件数	累計	件	12	5 17					20	85.0%	
委員が男女とも4割以上任命又は委嘱されている審議会等の割合	単年度	%	40.0	41.7					40.0	104.3%	
移住世帯数(※移住登録制度に登録されている世帯数)	累計	世帯	59	12 71					80	88.8%	
ふるさと納税を活用したガバメントクラウドファンディングによる起業支援数	累計	件	1	0 1					6	16.7%	後期新規KPI
湯沢市でテレワーク(ワーケーション)に取り組む事業所数	累計	事業所	2	1 1					5	20.0%	後期新規KPI

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度 重要度	順位 (32)	満足度 重要度	順位	満足度 重要度	順位	満足度 重要度	順位	満足度 重要度	順位
1	市民が主役のまちづくりの推進	満足度	19.1%	29							
		重要度	55.2%	28							
2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	満足度	25.0%	23							
		重要度	51.7%	30							
3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	満足度	25.3%	22							
		重要度	64.5%	19							

基本目標	1. みんなの信頼で築く丈夫なまち	分野	(2) 信頼を築き共感を集める戦略的広報の実現
施策	① 市民からの信頼と共感を得る広報広聴力の強化 ③ 広報広聴体制のマネジメントと意識の醸成		② 人を引き付ける戦略的な対外情報発信
取組概要	良好な信頼関係を構築しながら、戦略的に広報・広聴を強化し、ゆざわの魅力を高めます。		

主な事業	施策	事業名	担当課所
	①	コミュニティFM行政情報発信事業	情報政策課
	①	広報紙発行事業	情報政策課
	②	湯沢の魅力情報発信事業	情報政策課

主な取組の成果・課題

●コミュニティFM行政情報発信事業
市政情報の提供数に改善が見られるものの未だ低調なため、庁内での積極的な活用を推進する必要がある。また、緊急時の情報発信については、市民への情報提供をより迅速にかつ正確に行うため、庁内の情報収集及び伝達体制を早急に構築する必要がある。

●広報紙発行事業
時勢にあった特集を組み、カラーページの特徴を生かして写真を多く配置し、視覚的に目を引くつくりとした。また、前例にとらわれず、写真以外の物を表紙にするなど、手に取りやすくなる広報紙となった。市政情報のほか、まち・ひと・しごと等の他市に誇れる湯沢の魅力を継続的に発信し、地域への関心を高めた。
情報量が多いため、文字を小さくしたり、ページを増やす等して対応しているが、それが読みづらさを感じる要因になっている。

●湯沢の魅力情報発信事業
令和4年度は、ゆざわPR隊の6期生として19人を新たに委嘱した。令和4年度のゆざわPR隊Facebookのフォロワーが1,418人となり、令和3年度(1,216人)から202人増加した。また、動画の自動配信やYouTuberとのコラボにより、PR動画の閲覧数の増加を図った。(市公式Facebookのフォロワー数 R4実績:2,230件)
令和4年12月には、秋田朝日放送のデータ放送を利用した「湯沢市テレビ回覧板」の運用を開始し、インターネットに不慣れな方や触れる機会が少ない方でも、市が発信する最新情報を素早く簡単に入手できる環境を整備した。
ゆざわPR隊について、情報発信数が減っており、投稿者にも偏りが見られている。そのため、これまでに登録した隊員についても情報発信の働きかけを行い、連携を強化する。

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
市の情報発信の満足度	単年度	%	33.2	42.4					40.0	106.0%	市民満足度調査
市公式SNS(Facebook、Twitter、LINE)の登録者数	単年度	件	3,692	4,128					4,000	103.2%	後期新規KPI 各年度につき翌年度4月1日時点の数値
ゆざわPR隊登録者数	累計	人	47	19 66					100	66.0%	後期新規KPI

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度 重要度	順位 (32)	満足度 重要度	順位	満足度 重要度	順位	満足度 重要度	順位	満足度 重要度	順位
4	情報発信力の強化	満足度	42.4%	3							
		重要度	66.2%	16							
		満足度									
		重要度									
		満足度									
		重要度									

基本目標	1. みんなの信頼で築く丈夫なまち	分野	(3) 公共サービスの質的向上と最適化
施策	① 行政手法の改革	② 人事行政の改革	
	③ 公共施設の再編・再配置	④ デジタル化・DXの推進	
取組概要	公共サービスの質を高めるために、「公共＝行政」という概念から脱却し、民間部門における多様な主体(公共の担い手)との協働によってサービスの最適化を進めます。		

施策	事業名	担当課所
①	行財政改革推進事業	企画課
①	証明書コンビニ交付事務費	市民課
②	人事関係費	総務課
③	施設解体撤去事業	財政課
③	遊休公共施設等利活用促進事業	財政課
③	公共施設等総合管理計画推進事業	企画課
④	デジタル推進事業	情報政策課

主な取組の成果・課題	
●行財政改革推進事業	令和4年度行政評価において8事業が見直しにつながり、次年度の事業計画や予算へ反映することができた。
●証明書コンビニ交付事務	マイナンバーカードの普及に伴い、証明書自動交付件数が増加しているものの、交付件数全体の13%にとどまっている。証明書自動交付の利便性の周知、利用の前提となるマイナンバーカードの更なる取得推進が必要である。 <証明交付件数全体に対する自動交付の割合> 令和2年度 1.92% → 令和3年度 6.06% → 令和4年度 13.36%
●人事関係費	第4次定員管理計画に基づき、適正な職員数の管理を進めており、効率的かつ効果的な組織体制と人員配置による組織の活性化、そして職員的能力と意欲を高めるための人材育成を行いながら、人件費の抑制に取り組んでいくこととする。 職員研修としては、市長会による集合研修のほか、県自治研修所によるeラーニングや動画視聴等も活用し、さらに庁内研修も開催することで職員全体の能力の底上げを図ることができた。今後は、様々な研修を多様な受講方法(ZOOM等の遠隔受講等)を提供することで、さらなるスキルアップが期待できることから、効果的な研修の開催方法について検討する。
●施設解体撤去事業	令和4年度は、再利用等が見込めない普通財産2施設の建物の解体撤去を実施した。また、令和5年度解体予定の普通財産4施設のアスベスト事前調査及び実施設計を行った。解体撤去後の土地等について、更地での再利用や有償譲渡等が可能と思われる財産を洗い出し、有効活用を進めようとする。
●公共施設等総合管理計画推進事業	令和3年度に行った公共施設の劣化状況評価を踏まえ、改修等の整備水準や施設保全の優先順位を検討した公共施設の中長期的な施設整備計画となる「湯沢市公共施設保全計画」を令和4年9月に策定し、ホームページ等で公開した。
●デジタル推進事業	市民サービスの向上、業務の効率化を目指し、令和4年度は次の事業を実施した。今後も導入したシステムの利用者を増やすために、ホームページやSNSなどを通じて情報発信をする。また、デジタル推進事業を・デジタル機器に不慣れな人でも分かりやすく、使いやすくなるUI/UXのデザイン思考を取り入れたシステムを導入する必要がある。 ①本庁舎、各総合支所間のオンライン相談システムの導入 ②証明窓口へキャッシュレス決済の導入 ③公金の口座振替申請手続きをオンライン化 ④オンライン会議等の環境整備のため本庁舎4階会議室へ大型モニター等を設置 ⑤「びったりサービス」の行政手続きオンライン化の拡充

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
新たに民間活力を活用した件数	累計	件	1	3					10	40.0%	後期新規KPI
				4							
職員研修受講者数	単年度	人	365	451					370	121.9%	後期新規KPI
公共施設の延べ床面積	単年度	m ²	296,121	285,615					264,000	92.4%	

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
5	デジタル化・DXの推進	満足度	26.8%	19							
		重要度	51.8%	29							
		満足度									
		重要度									
		満足度									
		重要度									

基本目標	1. みんなの信頼で築く丈夫なまち	分野	(4) 強固で柔軟な財政基盤の確立
施策	① 健全財政の推進 ③ 歳出の適正化	② 歳入基盤の強化	
取組概要	経費節減や事業の見直しの徹底、経済効果の高い施策への集中投資や新たな財源確保策の掘り起こしなどによって、経済発展と財政健全化の好循環を促進します。		

主な事業	施策	事業名	担当課所
	②	賦課徴収総務費	税務課
	③	契約検査費	財政課

主な取組の成果・課題	
<p>●予算編成手法の改善 枠配分方式による編成手法を実施、歳入規模に見合った適切な歳出予算が生まれ、配分の中で、自発的な事業の見直しや、優先順位をつけるなど、事業のスクラップ・アンド・ビルドの推進が期待されているほか、市民ニーズを現場目線で、よりの確に予算に反映できることなど、職員が財政を意識した事業の組み立てを行うことで、コスト意識の向上にもつながる効果がある。今後も予算編成手法については、必要な検証を行うとともに見直しや改善に取り組む。</p> <p>●債権管理の適正化 統一した管理基準により、効果的かつ効率的な債権管理を進めることができるよう債権管理推進部会や作業部会における検討を進めている。今後については、令和5年度に債権に関する事務処理や基本姿勢、債権放棄等の要件を定めた債権管理条例を制定することとしている。</p> <p>●市税収納率の向上 令和5年1月に「市税等の徴収事務に関する基本方針」を見直し・検証して改定を行い、それを基に徴収事務の定義及び滞納整理の基準を定めた「湯沢市徴収事務マニュアル」を策定した。</p> <p>●市税納付方法の拡充 令和5年度から軽自動車税種別割と固定資産税が共通納税を介した納付が可能になるため、必要なシステム改修等を行った。納付方法が拡充されクレジットや全国の金融機関等での納付が可能になり納付者の利便性の向上を図った。</p> <p>●契約検査費 適正な入札契約制度の運用関係法規の周知を図り、入札関連事務の透明性を高め、事業者の受注機会の拡大と建設コストを縮減し、関連事務の効率化を図った。また、秋田県電子入札システムを共同利用することにより、従来の紙入札方式からインターネットを利用して入札参加申請から開札までの入札関連事務を一元化している。</p>	

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
自主財源比率	単年度	%	28.4	27.8					増加	-	
地方債現在高(普通会計)	単年度	億円	310	302					287	95.0%	後期新規KPI
公営企業会計(上水、下水)に対する経常的補助金	単年度	億円	8.48	8.61					8.41	97.7%	後期新規KPI

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
	満足度										
	重要度										
	満足度										
	重要度										
	満足度										
	重要度										

基本目標	2. 健康と暮らしを共に支え合う笑顔があふれるまち	分野	(1) 共助社会の構築と社会保障の充実
施策	① 福祉の共助体制の充実 ③ 社会参加機会の充実		② 自立支援とセーフティネットの充実
取組概要	地域の共助体制の充実と行政と関係団体の連携強化により、支え合いと安心の福祉社会を目指します。		

施策	事業名	担当課所
①	福祉活動支援事業	福祉課
①	地域福祉計画策定事業	福祉課
②	生活困窮者自立支援事業	福祉課
②	重層的支援体制整備事業(福祉課担当分)	福祉課
②	障害者等給付費	福祉課
②	生活保護一般扶助費	福祉課
②	大規模改修事業(皆瀬更生園)	福祉課(皆瀬更生園)
②	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援事業	福祉課
③	障害者福祉活動支援事業	福祉課
③	地域生活支援事業	福祉課

主な取組の成果・課題	
●地域福祉計画策定事業	令和5年度に予定している計画策定の前段として、市民2,000人を対象に地域福祉に関するアンケート調査を実施した。回答率は48.6%となった。
●生活困窮者自立支援事業	離職等により住居を失うおそれのある者(12人)に対して住居確保給付金を支給するとともに、生活困窮者自立相談支援において決定された支援プランに基づき、家計改善支援(12件)や就労準備支援(9件)により支援した。子どもの学習・生活支援事業においては、利用者のうち高校入学試験を受験した全員が志望校に合格した。また、地域共生社会の啓発を趣旨とした「地域福祉セミナー」を開催した。
●重層的支援体制整備事業(福祉課担当分)	生活困窮者自立相談支援事業においては、55件の新規相談を受け付け、相談者の状況に応じた支援プランを40件作成した。障害者相談支援事業においては、属性に関わらず包括的な相談支援を行い、相談実績は延べ889人となっている。地域活動支援センター事業においては、障がい者の社会参加、地域とのつながりを作る取組を行い、延べ利用者数4,271人となっている。
●生活保護一般扶助費	令和4年度の相談件数は123件(前年度比-22件)、保護申請件数は64件(-22件)、開始件数は41件(-19件)、3月末時点の世帯数は419世帯(-7世帯)。医療・介護扶助を除く生活扶助等の支出額は284,034千円(-11,534千円)、医療扶助は293,427千円(-60,743千円)、介護扶助は14,342千円(+705千円)、総額では591,805千円(-71,572千円)、10.79%の減となった。
●大規模改修事業(皆瀬更生園)	年次計画により外壁改修及び屋外給水管の更新、駐車場等外構構築、防犯カメラ・正面玄関への自動ドア(電気錠)を設置し、施設の長寿命化、利用環境が改善されたとともに、利用者が快適かつ安心安全に生活できる環境が整備された。
●電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援事業	電力・ガス・食料品等の価格高騰対策として、令和4年度住民税均等割非課税世帯等に対して、1世帯当たり50,000円の「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」と、同じく15,000円の「エネルギー・食料品価格高騰対応緊急助成金」を支給した。6,037世帯に対して確認書または申請書を送付し、このうち対象世帯の5,497世帯に支給した。また15世帯の家計急変世帯に支給しており、全体の支給世帯は5,512世帯となった。
●地域生活支援事業	障がい者が安心して地域生活を支えるサービスを提供することによって、日常生活の質の向上及び社会参加が図られた。意思疎通支援事業利用者3人:104,040円、地域活動支援センター登録者148人:6,000,000円、日常生活支援(日中一時)利用者37人:2,379,082円。

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
市内グループホーム設置数	単年度	箇所	14	14					16	87.5%	各年度3月31日時点の数値
地域生活支援事業利用者数	単年度	人	445	479					560	85.5%	
福祉施設から一般就労移行者数	単年度	人	4	5					10	50.0%	
多機関が連携した包括的な支援機関数	累計	箇所	0	0					3	0.0%	後期新規KPI

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
6	生活困窮者と障がい者の自立支援	満足度	29.0%	16							
		重要度	67.5%	15							
		満足度									
		重要度									
		満足度									
		重要度									

基本目標	2. 健康と暮らしを共に支え合う笑顔があふれるまち	分野	(2) 結婚・子育てに優しいまちの実現
施策	① 出会いの機会創出と結婚支援の強化 ③ 保育・幼児教育の充実と放課後児童の健全育成施設の充実		② 妊娠から子育てまでの支援の充実
取組概要	結婚から子育てまで、気軽に相談や支援を受けられる環境の充実を図り、子育てに優しいまちの構築を進めます。		

施策	事業名	担当課所
①	結婚サポート事業	まちづくり協働課
②	出産おめでとう事業	子ども未来課
②	子ども・子育て訪問事業	子ども未来課
②	児童手当給付費・児童扶養手当給付費	子ども未来課
②	重層的支援体制整備事業(子ども未来課担当)	子ども未来課
③	子ども・子育て支援事業	子ども未来課
③	子ども・子育て施設整備事業	子ども未来課
③	施設型給付事業	子ども未来課
③	放課後児童健全育成事業	子ども未来課

主な取組の成果・課題	
●結婚サポート事業	男女別スキルアップセミナーを開催し、自分自身のスキルアップや自信向上へと繋がるよう、独身男女に寄り添った伴走型の支援の機会を提供した(男女各4回実施)。また、モルックやゲームなど体験型の男女交流イベントを開催した(2回実施)。令和5年度は、セミナー及びイベントを継続実施し、新たに仮想空間による婚活支援も展開する。
●出産おめでとう事業	子育てにやさしいまちとしてのイメージアップを図り、安心して妊娠・出産・子育てができる地域社会の実現に向け、出産祝い品(クーポン券、子ども用椅子)の贈呈や多子世帯に対する育児費用助成金を支給することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減した。 ○令和3年度中に配布したクーポンの期限(令和4年度末)までの利用率 98.6% ○第3子以上の子育て家族に係る育児費用助成の利用率 84.5% なお、子育てクーポン券は令和4年度をもって廃止し、「出産・子育て応援事業」へ移行。妊娠届出時に妊婦1人につき50,000円、出産届出時に出生した子ども1人につき50,000円+あきた出産おめでとう給付金20,000円の計70,000円を現金給付する。
●子ども・子育て訪問事業	令和4年度より産前・産後家事ヘルパー事業により、妊産婦世帯に対し家事支援を実施し、安心して育児ができるようサポートした(利用登録者9人、利用人数6人 延べ利用回数35回) 家庭で抱えている課題が多岐にわたるため、継続支援を必要とするケースが増加傾向にあることから、令和5年度より「子どもと家庭の自立応援訪問事業」を実施し、産後1年以上経過している家庭の家事支援を行い、子どもが健やかに育ち、子どもとその家庭が自立した生活を送れるよう支援する。
●重層的支援体制整備事業(子育て支援センター)	高齢者と子育て中の親子が交流できる「つながろう すこやかDE」を開催し、地域のひとがつながる取り組みを実施し、地域づくりの場の周知へつなげた。また、「ゆざわ子育てマルっと応援DAY」では、ボランティアスタッフ23名(うち高校生3名)の協力を得て、地域のひとが子育て世代を応援しようとする意識を高めた。
●重層的支援体制整備事業(子ども・子育て包括支援)	専任保健師を配置し、妊娠の届出等の機会に得た情報をもとに、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点等との情報連携により、妊娠初期から子育て期にわたり切れ目なく伴走型支援を実施した。 ○母子手帳交付時の面談 100% 母乳育児応援講座の開催により、授乳のほか育児全般についての不安解消を図ることができた。(3回開催、参加者11名)
●子ども・子育て施設整備事業	令和3年度から「いわさきこども園」の園舎改築工事に対して補助を行い、令和4年3月に新園舎での運営が開始された。令和4年度は外構工事及び旧園舎の解体工事を実施し、園児の保育・教育環境が整備された。

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
あきた結婚支援センターへの新規登録者数	累計	人	12	3					100	3.0%	後期新規KPI実績値は市の登録料補助制度の利用者数
合計特殊出生率	単年度	-	1.07	1.00					1.45	69.0%	R2国勢調査の人口に住基上の人口減少率を乗じた値をもとに算出
出生数に占める第3子以降の割合	単年度	%	19.9	20.8					全国平均と同水準	119.5%	達成率はR4全国平均(17.4%)に対するもの
子育て環境や支援に満足している人の割合	単年度	%	29.7	26.2					50.0	52.4%	市民満足度調査

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
7	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	満足度	26.2%	21							
		重要度	73.0%	11							
8	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成	満足度	36.2%	7							
		重要度	75.8%	7							
		満足度									
		重要度									

基本目標	2. 健康と暮らしを共に支え合う笑顔があふれるまち	分野	(3) 心身が健康で活力あるまちの実現
施策	① 重点分野別・ライフステージに合わせた保健活動の充実	② 心の健康を守る精神保健支援体制の整備	
取組概要	心と体の健康を保持・増進するとともに、適切な保健活動により疾病の予防管理を適切に行い、健康寿命の延伸を目指します。		

施策	事業名	担当課所
①	保健事業推進事業	健康対策課
①	母子保健推進事業	子ども未来課
①	結核予防事業	健康対策課
①	特定健康診査等事業費	市民課
①	健康診査事業	市民課
①	人間ドック等助成事業	市民課
②	自殺予防事業	健康対策課

主な取組の成果・課題

●保健事業推進事業
市民が、各種健(検)診・健康教育等を通して病気の早期発見・早期治療や健康に対する意識向上につなげることで、生活習慣病の予防を図ることができる。
疾病発症状況やがん罹患率、死亡率などのデータを活用し、受診勧奨が必要な年代を絞りチラシの作成と個別通知により受診勧奨を行った。集団健診においては、密を避けるなど実施方法の改善の機会にもなったが、令和2年度に低下した受診率が新型コロナウイルス感染症前の状況まで回復していないのが課題である。

●母子保健推進事業
母体の健康増進、および乳幼児の健やかな成長を図るため、育児相談や健診等を実施し母子の健全育成に努めた。また、不妊に悩む夫婦の経済的、精神的負担軽減を図り、妊娠・出産を支援するため不妊治療費の助成を実施した。(10万円の助成を令和4年度より15万円に拡大)
○乳幼児健診受診率(4カ月児 100%、7カ月児 96.2%、1.6歳児 92.9%、3歳児 95.1%、2歳児歯科 80.4%)
○う歯罹患率(1.6歳児:1.63%:前年0.81%、2歳児:2.7%:前年3.75%、3歳児:16.3%:前年22.5%)
○特定不妊治療費助成11件、一般不妊治療費助成32件(出産・出産予定に至った割合:特定不妊治療52%、一般不妊治療38%)
感染症対策として1.6歳児および3歳児歯科健診を個別健診としたところ、受診率が低下したため、令和5年度より集団健診で実施(集団で実施している内科健診と同時実施)

●結核予防事業
これまでの検診を受ける人が申込み方法から、受診しない人が受けない理由を申し出る方法に変更するなど、検診受診者を増やし早期発見につなげることが必要である。

●人間ドック等助成事業(後期高齢者)
雄勝中央病院からの申し入れにより、ドック事業委託は令和3年度で終了し令和4年度からは償還払いの助成のみとなっている。費用負担半額助成の事業であるが相応の自己負担もあるため、利用者が固定化される傾向にある。
<委託・助成件数>
令和2年度 66件 → 令和3年度 77件 → 令和4年度 70件

●自殺予防事業
若年者対策としてSOSの出し方教育を中学校全校で実施したほか、教職員を対象にSOSの受け方講座を実施した。
自殺による死亡率は、令和2年は過去最小となったが、令和3年以降は増加に転じている。さらにゲートキーパー等の人材育成や社会問題としての意識の普及を進め、自殺に追い込まれる人を減らす必要がある。
課題としては、新型コロナウイルス感染症による生活の変化に伴い心の不調等、自殺リスクが高まっていることから、人材育成や普及啓発事業等を充実させることが挙げられる。

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
特定健康診査受診率	単年度	%	47.0	48.1					57.0	84.4%	
特定保健指導終了者の割合	単年度	%	15.8	9.6					26.0	36.9%	
自殺による死亡率(人口10万人対)	単年度	人	18.8	21.9					減少	-	R2実績11.9人からの減少が目標

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
9	心身の健康を保つ活動の充実	満足度	45.6%	1							
		重要度	79.1%	3							
		満足度									
		重要度									
		満足度									
		重要度									

基本目標	2. 健康と暮らしを共に支え合う笑顔があふれるまち	分野	(4) 充実した長寿生活の実現
施策	① 安心感と充足感のある長寿生活環境の形成	② 介護保険制度の健全な運営	
取組概要	高齢化社会にあっても、住み慣れた地域で健康で充実した日々を過ごせるよう、高齢者がそれぞれの経験を生かせる社会参加機会の充実や介護予防、介護福祉サービス等の支え合い体制の充実を図ります。		

施策	事業名	担当課所
①	敬老事業	長寿福祉課
①	老人クラブ活動支援事業	長寿福祉課
①	まめで長生き湯っこ事業	長寿福祉課
①	緑風荘管理運営費	長寿福祉課
①	高齢者等雪対策事業	長寿福祉課
①	高齢者等緊急通報システム事業	長寿福祉課
①	重層的支援体制整備事業(長寿福祉課担当)	長寿福祉課
②	賦課徴収費(介護保険料)	長寿福祉課
②	各種介護サービス・介護予防サービス給付費	長寿福祉課
②	市町村特別給付費(紙おむつ費)	長寿福祉課
②	介護予防生活支援サービス事業(総合事業費)	長寿福祉課

主な取組の成果・課題
<p>●重層的支援体制整備事業(長寿福祉課担当)</p> <p>地域共生社会の実現を目的として、既存の相談支援体制や地域づくり支援の取組みを活かし「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施するための会議、研修等を実施した。</p> <p>○重層的支援体制整備事業連絡会議2回開催37名参加</p> <p>○湯沢市生活困窮者支援等のための地域づくり事業研修会開催38名参加</p> <p>●市町村特別給付費(紙おむつ費)</p> <p>従来の領収書の提出による償還払い方式から、令和4年4月1日より「紙おむつ費支給券(1枚千円)」を使用しての購入へと変更した。利用者の紙おむつ費支給申請手続きにかかる負担を軽減し、利便性を向上させることができた。</p> <p>○紙おむつ費支給券交付実績 2,037名 93,668枚(93,668千円)</p> <p>○紙おむつ費支給券利用実績 56,285枚(56,285千円)</p> <p>●高齢者等雪対策事業</p> <p>雪下ろしや除排雪を自力で行うことが困難な高齢者世帯に対し、雪下ろし等の費用の一部の助成や、早朝の家の間口部分の除雪サービスの実施により、積雪による家屋倒壊等の災害の発生を未然に防止することで、降雪期における市民生活の安全を確保し不安解消を図ることができた。</p> <p>○雪下ろし費用助成:登録世帯 991世帯、延べ利用回数 1,061回、助成額 12,195,054円</p> <p>○福祉除雪サービス:年度末時点の登録世帯 374世帯、延べ利用回数 10,622回、助成額 9,982,304円</p>

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
要介護要支援認定率	単年度	%	18.8	19.2					19.0	99.0%	
介護保険料収納率(普通徴収・現年度分)	単年度	%	93.4	93.9					93.5	100.4%	

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
10	充実した長寿社会の実現	満足度	34.9%	9							
		重要度	74.6%	8							
		満足度									
		重要度									
		満足度									
		重要度									

基本目標	2. 健康と暮らしを共に支え合う笑顔があふれるまち	分野	(5) 安心して医療サービスが受けられるまちの構築
施策	① 地域医療体制の充実	② 医療保険制度の健全な運営	
	③ 医療機関受診時等の経済的負担の軽減	④ 感染症への対策	
取組概要	生涯にわたって健やかに生活できるよう関係機関との連携強化により、安心な医療環境を維持するとともに、医療保険制度の健全な運営に努めます。		

施策	事業名	担当課所
①	地域医療確保対策事業	健康対策課
①	産科医等確保支援事業	健康対策課
①	皆瀬診療所費	健康対策課(皆瀬診療所)
②	各種医療保険費	市民課
②	保健事業費	市民課
③	福祉医療給付費	市民課
③	予防接種事業	子ども未来課 健康対策課
④	新型コロナウイルスワクチン接種事業	健康対策課

主な取組の成果・課題	
●地域医療確保対策事業	地域の救急医療体制の確保と充実を図るため、中核病院である雄勝中央病院に対し救急医療の運営や医師確保のための支援を行っているほか、救急医療に必要となる高度医療機器の更新の際に支援を行うなど、地域医療の充実を図ることができた。医師の絶対数不足や地域偏在、特定の診療科への偏在が顕著になっているほか、看護師等の医療従事者確保も課題となってきている。
●保健事業費	
①人間ドック等助成事業	雄勝中央病院からの申し入れにより、ドック事業委託は令和3年度で終了し令和4年度からは償還払いの助成のみとなっている。費用負担半額助成の事業であるが相応の自己負担もあるため、利用者が固定化される傾向にある。 <委託・助成件数> 令和2年度328件→令和3年度343件→令和4年度332件
②後発医薬品割合	後発医薬品に切り替えた場合に、200円以上の削減効果が見込まれる世帯に対し、年2回差額通知書を送付している。令和2年度で厚生労働省の目標値(80%)を達成しており、今後の割合の大きな上昇は期待できない。
●予防接種事業	
<子ども未来課分>	法に定められている予防接種を個別(医療機関)で行うとともに、未接種者に対し早期接種を勧めた。また、ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの積極的接種勧奨が差し控えられていた時期に接種の機会を逃した人を対象にキャッチアップ接種を実施した他、任意接種費用の助成も行った。 四種混合:514人、二種混合:231人、MR:327人、日本脳炎:1,046人、BCG:114人 ヒブ:507人、小児用肺炎球菌:508人、HPV:628人、水痘:260人、B型肝炎:361人 ロタ:245人、任意風疹:13人、任意インフルエンザ:2,811人、任意おたふく:123人
<健康対策課分>	高齢者インフルエンザ:9,758人、高齢者肺炎球菌:500人、風疹:49人 なお、带状疱疹ワクチンへの助成について、次年度実施に向けて検討することとしている。
●福祉医療給付費	乳幼児、小中学生及びひとり親家庭児童に加え、令和4年10月から高校生世代(満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの子ども)を含むの全ての子ども及び高齢身体障害者及び重度心身障害(児)者の心身の健康の保持と生活の安定を図った。
●新型コロナウイルスワクチン接種事業	新型コロナウイルス感染症の予防及び発症時の重症化予防のため、希望する市民等への円滑な接種を実施した。今後については、国からの情報収集に勤め、関係機関との緊密な連携を図りながら実施する必要がある。

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
湯沢雄勝医療圏の医師数(人口10万人対) ※国統計が隔年調査のため隔年で把握	単年度	人	135.4 (R2)	-					県平均(秋田市周辺を除く)	-	R4実績値はR6.3月に公表見込
国民健康保険後発医薬品割合(数量シェア)	単年度	%	83.5	83.4					増加	-	R2実績83.2%からの増加が目標

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
11	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	満足度	39.4%	4							
		重要度	81.0%	2							
		満足度									
		重要度									
		満足度									
		重要度									

基本目標	3. ふるさとの技が光る、存在感あふれるまち	分野	(1) 産業基盤の充実・強化
施策	① 未来に継承すべき産業基盤の強化・保全	② 関係団体等との連携によるきめ細かな支援体制の構築	
取組概要	豊富な地域資源を生かし、活力ある産業経済を支えるための土台づくりを行います。		

施策	事業名	担当課所
①	農業振興地域整備促進事業	農林課
①	雪害復旧支援対策事業	農林課
①	農用地保全対策事業	農林課
①	県営ほ場整備事業推進費	農林課
①	林道改良事業	農林課
①	林業活性化支援事業	農林課
②	次期作営農継続支援事業	農林課
②	飲食店緊急支援金給付事業	商工課
②	運送事業者等緊急支援金給付事業	商工課
②	エネルギー価格高騰対策緊急支援金給付事業	商工課
②	金融対策事業	商工課
②	商工支援団体活動強化事業	商工課
②	クーポン券発行団体等支援事業	商工課

主な取組の成果・課題	
●農業振興地域整備促進事業	計画書及び付図の更新、業務用閲覧データのデジタル化に係る業務を年度内に完了した。今後は、農振法第12条の2第1項に基づく基礎調査を5年毎に行い、必要に応じて計画の見直しを実施する。また、土地異動情報等を反映したデータ更新を毎年実施(業務委託)することにより、デジタル図面の適正な管理を継続していく。
●県営ほ場整備事業推進費	・関口地区では、暗渠排水工事等(県発注)を実施した。また、換地業務委託を発注し換地計画書の作成を行った。 ・上院内地区では、採択申請に向けて、農業農村整備事業実施計画の作成を行った。 ・杉沢・新所地区では、現況平面図の作成を行った。
●次期作営農継続支援事業	1) 令和3年産米価の下落に伴い、令和4年の営農継続に係る支援を行った。 ○水稲種苗費助成(1,500円/10a) → 1,350件/25,445千円 ○有機肥料購入助成(2,800円以内/10a) → 2件/53千円 ○収入保険付加保険料助成(事務費1/2) → 156件/2,386千円 ○作物転換助成 面積増加分(5,000円/10a) → 27件/767千円 2) 農業生産資材等の価格高騰の影響を踏まえ、令和5年の営農継続に係る支援を行った。 ○水稲・大豆・ソバ(1,000円/10a) → 35,405千円 ○園芸施設・露地野菜(5,000円/10a) → 6,628千円 ○施設果樹・果樹(3,000円/10a) → 3,767千円 →合計 1,357件/45,800千円
●飲食店緊急支援金給付事業	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した飲食店や宿泊施設に対する支援を目的とし、通常期と比較した売上減少率に応じて家賃などの固定費3か月分を支給することで、事業の継続を図った。 ○給付件数172件、給付金額38,962,000円
●エネルギー価格高騰対策緊急支援金給付事業	エネルギー価格高騰の影響を受けた市内事業者に対し、経費の負担軽減・緩和を目的に支援金を給付し、事業の継続を図った。 ○給付件数1,034件、給付金額156,836,000円
●クーポン券発行団体等支援事業	クーポン券の発行や割引セールなど商店街等の団体が自主的に実施する事業に対し補助金を交付し、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいる売上向上及び地域経済の回復を図った。 ○決定件数18団体、交付金額85,509,000円 ○売上金額244,440,716円、売上増店舗割合84.7%、消費者満足度87%

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
ほ場整備実施(事業化)面積	累計	ha	24.5	0.0					95.0	25.8%	
再造林面積	累計	ha	32.5	21.8					40.0	54.5%	実績値・達成率は5年累計による
				21.8							

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
12	産業を支える土台づくり	満足度	23.0%	24							
		重要度	62.3%	23							
		満足度									
		重要度									
		満足度									
		重要度									

基本目標	3. ふるさとの技が光る、存在感あふれるまち	分野	(2) 競争力のある質の高いものづくりと流通対策の強化
施策	① 付加価値と競争力の高いものづくりの推進		② 経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上
取組概要	ユーザーの需要を意識して魅力と競争性の高いものづくりを進めるとともに、「湯沢らしさ」を生かした戦略的なマーケティング活動を支援します。		

主な事業	施策	事業名	担当課所
	①	湯沢産米生産販売推進事業	農林課
	①	地域産材活用促進事業	農林課
	②	夢ある園芸産地創造事業	農林課
	②	6次産業化施設整備支援事業	農林課
	②	夢ある畜産経営ステップアップ事業	農林課
	②	新事業展開支援事業	商工課
	②	ビジネス支援センター事業	商工課

主な取組の成果・課題
<p>●地域産材活用促進事業 地域産材を使用して住宅建築する建て主に対して補助金を交付した。 ○申請10件 地域産材使用量81.3㎡(新築・増築7件 71.3㎡、その他改修・外壁等3件10.0㎡)</p> <p>●夢ある園芸産地創造事業 作付作目の生産性を向上させるため、また、新規就農者に対しては就農計画の達成に必要な施設・機械等の導入に要する経費の一部を補助した。(事業実施主体:13者) 生産量及び販売額の目標達成に向けて、安定生産や品質の均一化、栽培技術の向上など、県及び農協等と連携した支援が必要である。</p> <p>●6次産業化施設整備支援事業 農業経営の多角化、農林畜産物の付加価値の向上、食品衛生法の改正に対応するため、農産物等の加工・流通・販売などの取組に必要な施設・機械等の導入に要する経費の一部を補助した。(事業実施主体:1者) 生産量及び販売額の目標達成に向けて、安定生産や品質の均一化、生産技術の向上など、県及び農協等と連携した支援が必要である。</p> <p>●夢ある畜産経営ステップアップ事業 認定農業者、畜産クラスター計画の中心的経営体等が行う畜産の生産振興を図るために要する経費の一部を補助した。(事業実施主体:3者)</p> <p>●新事業展開支援事業 市内中小企業が主体的な努力による足腰の強い持続的な成長を目指した革新的な事業展開に取り組む場合に、新商品開発、販路開拓、新しいサービスの提供等に要する経費の一部を補助することで、市内中小企業等の経営力の強化を図った。 また、地場産品取扱企業において事業参画型インターンシップ事業を推進し、企業の課題解決や経営革新計画等により、地域を支える地場産業を強化し、地域経済の活性化を図った。 ○ふるさと企業革新計画認定件数 1件(平成29年度～累計9件) ○つくる力売る力向上支援事業補助金 2件(平成29年度～累計13件) ○実践型インターンシップ受入企業 1社(平成29年度～累計14件)</p> <p>●ビジネス支援センター事業 令和2年1月に開設した湯沢市ビジネス支援センター「ゆざわ-Biz」による販路拡大や新製品開発等のアドバイスを通して、相談事業者の満足度を得ながら継続的な支援を展開し、売上の向上や経営課題の解決を提案するとともに、商工団体や金融機関との連携、経営者や次世代の人材育成など包括的な経営により「地域経済の活性化」を図った。 <令和4年度実績> 相談件数:837件(のべ2,633件)、相談者(社)数:166者(のべ368者) <令和2年1月～令和4年3月実績> 相談対応満足度89.9%、販路拡大割合25.5%、新製品開発割合64.9%、売上向上割合26.6%、売上向上金額177,966,240円</p>

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
納税義務者1人当たりの課税対象所得	単年度	千円	2,462	2,552					県平均以上	90.4%	達成率はR4県平均(2,822千円)に対するもの
主な園芸作物の販売額	単年度	百万円	1,075	966					1,814	53.3%	JAこまち青果物販売実績より把握
地域産材使用量	累計	㎡	550	81 631					1,300	48.5%	
食料品・飲料品等の製造業出荷額	単年度	百万円	10,894	-					14,435	-	国調査により把握するが、R4実績値未公表
伝統的地場産業等の新商品開発件数	累計	件	12	2 2					20	10.0%	実績値・達成率は5年累計による

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
13	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	満足度	20.3%	28							
		重要度	57.6%	26							
14	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	満足度	22.5%	25							
		重要度	64.1%	20							
		満足度									
		重要度									

基本目標	3. ふるさとの技が光る、存在感あふれるまち	分野	(3) 訪れたいくなる動機付けと観光交流人口の拡大
施策	① 湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出 ③ 観光推進体制の整備	② 受入環境の整備・充実	
取組概要	市の魅力を効果的に「見える化」し、おもてなしの充実と環境整備により、交流が盛んな「訪れてみたいくなるまち」を創ります。		

施策	事業名	担当課所
①	全国まるごとうどんエキスポ開催支援事業	商工課
①	まちなかにぎわい事業	商工課
①	観光イベント開催支援事業	観光・ジオパーク推進課
①	観光情報発信事業	観光・ジオパーク推進課
①	観光物産展開催事業	商工課
①	魅力あふれる湯沢PR推進事業	観光・ジオパーク推進課
②	がっちりかたくみ観光連携事業	観光・ジオパーク推進課
②	とことん山キャンプ場管理運営費	観光・ジオパーク推進課
②	温泉給湯施設整備事業	観光・ジオパーク推進課
②	秋の宮温泉郷活性化事業	観光・ジオパーク推進課
②	観光二次アクセス整備推進事業	観光・ジオパーク推進課
③	観光物産団体強化事業	観光・ジオパーク推進課

主な取組の成果・課題	
●全国まるごとうどんエキスポ開催支援事業	日本三大うどんであり、本市の観光資源である稲庭うどんのブランド力を生かしたうどんエキスポを開催し、観光客にうどん食文化の新たな発見と感動を与え、本市特産品や温泉、ジオパーク等の情報を発信し、市内のにぎわい創出を図った。 ○うどんエキスポ開催費補助金 設営に要する費用の一部を補助 7,340,078円 ○成果:来場者数7万人、経済波及効果3.5億円 ○課題:経費の圧縮とコンテンツのマンネリ化による集客率の低下
●まちなかにぎわい事業	湯沢市中心商店街等振興条例による支援を講じ、中心商店街の空き店舗の解消と商業の活性化、市民生活の向上を図った。 ①空き店舗対策支援 ○中心商店街等振興事業審査会委員報酬 15,000円(審査会1回開催) ○空き店舗の解消及び有効活用について、改装費及び賃借料の一部助成 2,072,000円 (改装費補助1件、賃借料補助5件) ②各種イベント支援3件 1,703,000円 商店街のにぎわい創出など商店街組合等による活性化事業を促進することを目的とし、商店街組合等が商店街のにぎわいを創出するために実施するイベントへの補助。
●魅力あふれる湯沢PR推進事業	市内観光施設や特産品など湯沢の魅力をPRするため「春夏編」「秋冬編」の番組を制作しBSおよび東北圏の地上波で放送するとともに、出演者等のSNSにより情報発信を行った。 番組放送やSNSによる情報発信は、「春夏編」が7月29日で「秋冬編」が11月18日から始まっており、誘客効果は令和5年にも及ぶと思われるが、効果が一過性のものとならないようPRの継続が必要である。
●とことん山キャンプ場管理運営費	とことん山利用者の利便性と満足度向上のためサニタリー棟を新築するとともに、場内施設の整備を行った。また、利用者の安全確保を図るためナラ枯れの伐採や次年度の不要施設解体に向けた設計等を行った。 今後は、各種施設が老朽化しているため、将来的な活用方針を検討し、計画的な修繕等の整備を行う必要がある。
●秋の宮温泉郷活性化事業	秋の宮山荘のリニューアルオープンに合わせて、営業に不可欠な温泉等の供給に係る設備等の修繕を行った。冬期間の秋の宮温泉郷への誘客拡大に向けて観光体験や農山村体験のツアーを実施するとともに冬季イベントの広告を実施した。 登山客の増加などが地域の活性化につながるため、県に対して豪雨被害のあった虎毛山登山道等の整備要望を継続する必要がある。また、農山村体験など地域や民間が主体となった観光サービスの提供が必要である。

重要業績評価指標 (KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
観光入込客数	単年度	人	460,676	861,591					1,300,000	66.3%	
宿泊客数(総数)	単年度	人	103,232	96,153					120,000	80.1%	
宿泊客数(外国人)	単年度	人	7	175					1,855	9.4%	
観光PR動画の発信件数	累計	件	4	2					5	40.0%	後期新規KPI実績値・達成率は5年累計による

市民満足度調査			R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
			満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
15	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	満足度	34.7%	10								
		重要度	72.6%	12								
16	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化	満足度	20.7%	27								
		重要度	64.8%	17								
		満足度										
		重要度										

基本目標	3. ふるさとの技が光る、存在感あふれるまち	分野	(4) 多様な人材育成と就労環境の充実
施策	① 全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成 ③ 地域に根差す革新的な起業・創業の支援	② 就労機会の拡大及び多様な人材が活躍できる体制づくり	
取組概要	産業を持続的に支える多様な人材を確保・育成し、働きたい人が能力を十分に発揮できる環境を整えます。また、地域経済を刺激する新たな挑戦を応援します。		

主な事業	施策	事業名	担当課所
	①	農業経営所得安定対策事業	農林課
	①	担い手育成確保対策事業	農林課
	②	企業誘致対策事業	商工課
	②	雇用創出対策事業	商工課
	③	起業家育成支援事業	商工課

主な取組の成果・課題

●農業経営所得安定対策事業
湯沢市農業再生協議会に対し補助することで、国の交付金に係る要件確認等(事業の普及・加入促進、申請書類等の配布・回収、作付面積・作付状況の現地確認、水田台帳の整備など)を円滑に行った。しかし、産地交付金の一部の対象者「水田リノベーション補助金対象者(大豆、加工用米)」に対して、交付金が交付できない事例があったため、市が補填して農家へ支払った。

●担い手育成確保対策事業
就農希望者の意欲の喚起と就農直後の円滑な農業経営確立を図るため、農業経営技術習得のための研修費を助成した。また、経営開始直後の新規就農者(60歳未満まで)に対して、経営確立に資する資金を交付した。
担い手支援に係る各種事業を情報発信することにより、就農定着及び若手農業者の確保が急務である。

●企業誘致対策事業
○「あきたリッチセミナーinTOKYO」への参加による企業誘致活動を行った。
○既存誘致企業の生産拡大に伴い、市所有空き工場物件の売却による支援を行った。
成沢工業団地が全区画売却の見通しとなったことから、これに代わる新たな工業団地造成及び中心市街地活性化と連動したサテライトオフィス等の誘致の検討が必要である。

●雇用創出対策事業
市内企業(ふるさと企業)の設備投資や技術の継承等を「ふるさと企業振興補助金」による支援をとおして、地域内雇用の維持拡大及び基幹技術者の育成を図った。
○有効求人倍率は堅調なもの、生産年齢人口の減少による労働力の確保が課題である。
○長引くコロナ禍の影響による経営環境の変化は、生産性向上や省エネ、脱炭素化に向けた新たな設備投資による企業成長の妨げとなっており、ふるさと企業の持続的発展への取組強化が課題である。

●起業家育成支援事業
市内での起業希望者に対する創業者融資補助制度により、起業に踏み出しやすい環境を構築するとともに、湯沢市創業・開業支援スペースゆざわ-Bizハッチによる伴走型支援により、事業継続性の高いビジネスモデルの創出を図った。
○令和4年度本事業活用による起業4件
市内での起業希望者は一定数いるが、資金調達などの金銭的理由により起業に踏み出せない方に対して直接的なアプローチできていないことが課題である。

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
新規就農者数	累計	人	33	1 34					80	42.5%	
新たな企業誘致件数	累計	件	1	0 0					2	0.0%	実績値・達成率は5年累計による
市内における起業・新事業展開件数	累計	件	31	4 4					50	8.0%	実績値・達成率は5年累計による
UIJターンによる起業数	累計	件	4	1 5					10	50.0%	

市民満足度調査			R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
			満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
17	全ての産業における次世代を担う人材の育成・確保	満足度	18.8%	30								
		重要度	68.0%	14								
18	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	満足度	15.2%	32								
		重要度	64.6%	18								
		満足度										
		重要度										

基本目標	4. あたたかな心と豊かな文化で人が集うまち	分野	(1) 交流の活性化
施策	① 都市農村交流による活性化 ③ 国際交流による国際感覚の育成		② ジオパークの普及促進
取組概要	国内外との交流の活性化により見識を広め、地域の価値を再発見することで郷土を愛する心を育てます。		

主な事業	施策	事業名	担当課所
	①	都市農村交流推進事業	農林課
	①	パルシステム・秋田南部圏食と農推進事業	農林課
	②	ジオパーク推進総務費	観光・ジオパーク推進課
	③	中学生日独交流事業	生涯学習課

主な取組の成果・課題	
<p>●都市農村交流推進事業 令和4年度で事業廃止。 都市農村交流については、パルシステム・秋田南部圏食と農推進事業で推進する。</p> <p>●パルシステム・秋田南部圏食と農推進事業 産地の生産者と組合員の消費者との相互交流(コロナ禍ではオンライン開催)を通じて、グリーン・ツーリズムや地域づくりの可能性を追求している。 1)秋田(湯沢市・横手市)会場 (首都圏から湯沢市へ) ○田植エツアー【オンライン】 34人(組合員) ○稲刈り・リンゴ狩りツアー 23人・9組(組合員) ○産地へ行くツアー 24人・8組(組合員) ○秋田郷土料理講習会【オンライン】 68人(組合員) 2)首都圏(パル千葉)会場 (湯沢市から首都圏へ) ○パル千葉展示会 3人(事務局)</p> <p>●ジオパーク推進総務費 日本ジオパーク認定10周年記念パネル展、学習発表交流会、研究成果発表会などの開催により、地域住民の地域資源の魅力の再認識を促進した。また、ジオツアー、秋田県ジオパーク連絡協議会並びに日本ジオパークネットワーク東北ブロックの普及啓発事業などにより、市外の人々のゆざわジオパークに対する理解を促進した。 課題としては、令和2年度の再認定審査における指摘事項の解決、改善に取り組む必要がある。また、第3次ゆざわジオパーク構想に基づき計画的に活動を推進する必要がある。</p> <p>●中学生日独交流事業 令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を実施することができない状況が続いたが、その間、日本の図書をジークブルク市立アンノギムナジウムへ寄贈したり(令和2年度)、ビデオレターを作成する(令和4年度)といったコロナ禍でも実施可能な代替の交流を計画し、日本とドイツにおける交流の継続に配慮した。</p>	

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
農業による産地交流参加者数	累計	人	597	149 746					850	87.8%	
ジオガイド利用者数	単年度	人	2,905	1,765					2,500	70.6%	
市民応援隊『ゆざわジオパークかたり隊』の登録事業者総数	累計	事業所	47	4 51					50	102.0%	
「農山村交流及び国際交流の活性化」に対する市民満足度	単年度	%	16.6	17.6					20.0	88.0%	後期新規KPI 市民満足度調査

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
19	農山村交流及び国際交流の活性化	満足度	17.6%	31							
		重要度	40.5%	32							
20	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	満足度	29.1%	15							
		重要度	46.5%	31							
		満足度									
		重要度									

基本目標	4. あたたかな心と豊かな文化で人が集うまち	分野	(2) 学校教育の充実
施策	① 創意工夫に満ちた特色ある学校づくりの推進	② 心豊かでたくましく生きる児童生徒の育成	
	③ 学習指導の充実と教職員の能力向上	④ 安全・安心で良質な教育環境の整備	
取組概要	将来を担う子どもたちの確かな学力や豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力、社会性や集団性、ふるさとを愛する心を育てます。		

施策	事業名	担当課所
①	コミュニティ・スクール推進事業	学校教育課
②	部活動指導員配置促進事業	学校教育課
③	子ども読書活動支援事業	学校教育課
③	英語コミュニケーション能力育成事業	学校教育課
③	学校情報環境推進事業	学校教育課
④	学校用パソコン更新事業	教育総務課
④	スクールバス管理費	教育総務課
④	ICTを活用した授業改善支援事業	学校教育課
④	小学校統合事業	教育総務課
④	中学校エアコン整備事業	教育総務課
④	小・中学校長寿命化改修事業	教育総務課
④	学校給食センター経費	教育総務課(学校給食センター)

主な取組の成果・課題	
●部活動指導員配置促進事業	各中学校に運動部6名・文化部3名の計9名を配置し、部活動における専門的な指導体制の確保及び指導力の向上と教員の超過勤務時間の削減を図った。学校の規模により部活動数に偏りがあり、一校に1~2名の配置では、学校の希望に応じることができないことが課題である。また、専門的な指導力を有した人材の確保に苦慮している。
●英語コミュニケーション能力育成事業	中学3年生の英検3級以上取得率48.7%と目標の8割を達成した。また英語の体験教室には夏季休業中に18人、冬季休業中に13人の児童生徒が参加し、ALTと英語で会話しながらゲームや宝探しを行い、参加者から好評を得た。
●学校情報環境推進事業	小学校にICT支援員を3名配置し、授業でのICT活用を促進した。11月の調査では、PC端末の活用において、1日平均1.8時間の使用であり、目標の1日平均2時間に届かなかったが、上学年(4, 5, 6年)はすべて平均2時間を超えていた。(中学校は、1日平均2.5時間)
●学校用パソコン更新事業	市内小中学校体育館への無線LAN整備、市内小中学校普通教室へのプロジェクター整備を実施した。これにより校内無線LAN環境はほぼ完了したが、一部無線LANの届きにくい教室等があることが分かっていることから、ネットワークアセスメントの必要がある。また、既整備の大型提示装置の耐用年数も経過し劣化が進んでいることから、特別教室用として機器更新を行う必要がある。
●スクールバス管理費	稲川小学校開校に併せて、遠距離通学支援としてスクールバス運行を業者委託により開始した。
●中学校エアコン整備事業	市内6中学校の普通教室、特別教室等の必要箇所にエアコンを整備した。
●小・中学校長寿命化改修事業	雄勝中学校雄心館屋根改修工事実施設計を実施したほか、小・中学校体育館天井照明のLED化や稲川小学校屋根防水改修等、令和5年度以降の取り組みを計画した。
●学校給食センター経費	プロポーザル方式により受託候補者を選定し、調理及び配送業務について、令和5年4月1日から3年間を期間とする委託契約を締結した。今後は委託仕様書に基づく業務実施の検証を毎年度行う。また、児童生徒は減少していくことから、運営状況や従事者の勤務状況等を確認しながら経費削減を図る。

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値R8	達成率R4/R8	備考	
				R4	R5	R6	R7	R8				
「学校生活意識調査の設問に 「当ではまる」と回答した率	学校が楽しい	小6	単年度	%	63.7	63.0				72.9	86.4%	後期新規KPI
		中3	単年度	%	60.8	66.8				74.8	89.3%	後期新規KPI
	みんなで何かするのは楽しい	小6	単年度	%	76.7	78.8				86.4	91.2%	後期新規KPI
		中3	単年度	%	77.5	72.8				82.0	88.8%	後期新規KPI
	授業に主体的に取り組んでいる	小6	単年度	%	60.2	59.3				66.4	89.3%	後期新規KPI
		中3	単年度	%	54.6	59.2				69.8	84.8%	後期新規KPI
中学校卒業時の英検3級以上取得率	単年度	%	43.4	48.7					60.0	81.2%		

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
21	学校教育の充実	満足度	34.5%	11							
		重要度	76.6%	5							
		満足度									
		重要度									

基本目標	4. あたたかな心と豊かな文化で人が集うまち	分野	(3) 生涯学習の推進
施策	① 生涯学習環境の整備・地域課題解決のための学習機会の提供	② 地域人材の育成・活用の仕組みづくり	
	③ 芸術文化活動の活性化		
取組概要	市民一人ひとりが自らの生活をより豊かなものとし、潤いのある生活を送ることができる生涯学習を推進します。		

主な事業	施策	事業名	担当課所	主な取組の成果・課題
	①	日本語学習支援事業	生涯学習課	
①	二十歳を祝う会開催事業	生涯学習課	●二十歳を祝う会開催事業 成年年齢引き下げに伴い、「成人式」から「二十歳を祝う会」に名称を変更して開催した。開催にあたっては、来場できない人向けにライブ配信を行うとともに、記念動画を配信し、恩師や友人からのメッセージ及びふるさとの魅力等を発信した。また、湯沢市出身の若手イラストレーターにメッセージ及びイラストを提供してもらうことで、意識の醸成を図った。	
①	湯沢・雄勝図書館管理運営費	生涯学習課(湯沢・雄勝図書館)	●地域学校協働本部事業 広報ゆざわ6月号特集で地域学校協働活動の取り組みを紹介するとともに、発行後は市HPへも掲載した。事業の推進体制や現状を広く周知したことにより、問い合わせが複数あり、事業内容等に対する理解を得ることや、各事業量に適した地域ボランティアの確保につながった。	
①	各公民館事業	生涯学習課(各生涯学習センター)	●生涯学習推進本部事業 「出前講座」「生涯学習人材バンク」など、市民に生涯学習手段と担い手としての機会を提供することができた。生涯学習奨励員が各種教室・講座の世話人として地域の学習活動の充実を図るとともに、他組織との連携により、支援学校や障がい者の生涯学習支援事業で講師を務めるなど、学習活動支援活動の幅を広げることができた。	
②	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	●湯沢・雄勝文化会館自主事業 「音楽のまちゆざわ」にふさわしい文化の振興に関わる事業や市民参加型の事業を実施し、市民に広く鑑賞機会を提供し、市民文化の向上と芸術文化の振興を図った。	
②	地域学校協働本部事業	生涯学習課	●湯沢文化会館施設整備事業 令和2年度に実施した「湯沢文化会館建物保全調査」を踏まえて、新たなニーズに応えることができる建物・設備の改修、施設を有効活用するための事業展開及び管理運営手法等の対応方針を示した、「湯沢文化会館機能向上事業計画」を令和4年6月に策定した。	
②	生涯学習推進本部事業	生涯学習課	●芸術文化振興事業 各芸術文化団体において事務局を中心に自主的・自立的な運営が確立してきている。事業の分野及び参加者の年齢層が固定化してきているという課題は残るが、市民の豊かな心の醸成を図り、芸術文化に触れられる機会を提供することができた。	
③	湯沢・雄勝文化会館自主事業	生涯学習課(湯沢・雄勝文化会館)		
③	湯沢文化会館施設整備事業	生涯学習課(湯沢文化会館)		
③	芸術文化振興事業	生涯学習課		

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
地域課題の解決に向けた講座参加者数	単年度	人	413	265					200	132.5%	後期新規KPI
生涯学習人材バンクの活用件数	単年度	件	58	85					100	85.0%	後期新規KPI
本を読むことについて「好き」な児童・生徒の割合	小2	単年度	%	61.6	74.0				73.0	101.4%	後期新規KPI
	小5	単年度	%	48.6	48.7				55.0	88.5%	後期新規KPI
	中2	単年度	%	47.5	40.2				35.0	114.9%	後期新規KPI
1か月間に読んだ本の冊数が0冊の児童・生徒の割合	小2	単年度	%	2.2	3.5				0.0	96.5%	後期新規KPI
	小5	単年度	%	0.7	1.3				0.0	98.7%	後期新規KPI
	中2	単年度	%	5.4	14.2				10.0	95.3%	後期新規KPI
音楽のまち「ゆざわ」関連イベントへの参加者数	単年度	人	10,520	19,152					18,000	106.4%	

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
22	生涯学習の推進	満足度	36.2%	7							
		重要度	61.4%	25							

基本目標	4. あたかな心と豊かな文化で人が集うまち	分野	(4) スポーツ活動の推進
施策	① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 ③ スポーツを活用した地域の活性化	②	市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備
取組概要	世代や目的に応じて、スポーツに参加できる環境整備と指導者の育成に努め、スポーツによるまちの活性化を図ります。		

施策	事業名	担当課所
①	市民体育大会等開催事業	生涯学習課
①	スポーツ関係団体体育成事業	生涯学習課
①	運動教室等開催事業	生涯学習課
②	総合体育館管理運営費	生涯学習課
②	稲川スキー場管理運営費	生涯学習課
②	体育施設改修等事業	生涯学習課
③	各地域体育大会等開催事業	生涯学習課(各生涯学習センター)
③	スポーツで輝く人づくり推進事業	生涯学習課
③	ふるさとあきたラン！選手派遣事業	生涯学習課
③	スポーツイベント開催事業	生涯学習課

主な取組の成果・課題
<p>●運動教室等開催事業 新規運動教室として、YUZAWAスポーツラボ(全6回)を開催し、新たなスポーツ機会を提供することができた。 スポーツ推進委員事業を拡充し、主管事業として「ニュースポーツ教室(3教室)」を新たに実施した。ただし計画した参加者数を満たすことができず、実施種目、告知方法の改善が必要である。</p> <p>●総合体育館管理運営費 施設利用者へのサービス向上を図るため、総合体育館他4施設の指定管理への移行準備を行い、指定管理者の選定、決定に至った。指定管理開始日は令和5年4月1日となっている。</p> <p>●体育施設改修等事業 雄勝野球場グラウンド等改修工事(80,904千円)、稲川交流スポーツエリア屋内運動場屋根等改修工事(78,165千円)、ヘルシーパーク外灯工事(15,941千円)を実施した。併せて次年度に計画されている稲川野球場グラウンド等改修工事、稲川スキー場迂回路整備工事の実施設計も行っている。</p> <p>●各地域体育大会等階級事業 コロナ禍の影響もあったが、概ね実施することができ、地域におけるスポーツ振興と文化的活動に寄与することができた。</p> <p>●スポーツで輝く人づくり推進事業 障がい者スポーツ普及講演会(講師:瀬古利彦氏)、ユニバーサルニュースポーツ交流会(ポッチャ等)の計画した2事業を実施することができた。 市内全小学校の5年生を対象に「夢の教室」を実施した。今年度も新型コロナウイルス感染症を考慮し、リモートでの開催となった。</p> <p>●ふるさとあきたラン！選手派遣事業 湯沢市代表1チームを大会に派遣した。選手たちが自分の力を存分に発揮し、総合5位という好成績をあげたことにより、スポーツの明るい話題を市民に届けることができた。</p> <p>●スポーツイベント開催事業 七夕健康マラソン、市駅伝競走大会に代わるイベントとして、「第1回湯沢城下チャレンジラン」を開催した。新型コロナウイルス感染症を考慮し、参加者の地域を限定した大会となった。小中学生のロードレースでは90人、一般の駅伝では21チームが出走した。次回大会は地域限定を解除し参加者数の増加と、市中心商店街をコースとした大会であるので、商店街イベントとのコラボレーションによるにぎわいの創出を図っていく必要がある。 スポーツ推進委員による新たな事業として「ニュースポーツフェスタ」を実施することができた。</p>

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
週1日以上運動・スポーツをした人の割合(20歳以上)	単年度	%	63.0	47.9					65.0	73.7%	後期新規KPI
スポーツ施設利用者数	単年度	万人	15.5	14.8					20.0	74.0%	
スポーツイベント開催件数	単年度	件	3	5					10	50.0%	後期新規KPI

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
23	スポーツ活動の推進	満足度	28.3%	17							
		重要度	56.1%	27							
		満足度									
		重要度									
		満足度									
		重要度									

基本目標	4. あたかな心と豊かな文化で人が集うまち	分野	(5) 文化の保護・継承・活用
施策	① 歴史文化の次代への確実な維持・継承 ③ 市内展示施設のネットワーク化の実現	② 郷土への誇り・愛着の醸成と魅力の発信 ④ ジオパークの調査・研究	
取組概要	風土に育まれた歴史や文化を守り次の世代へとつないでいくため、行事への参加や伝統文化に触れる機会を増やすことにより理解と認識を深め、地域への誇りと愛着を醸成します。		

主な事業	施策	事業名	担当課所	主な取組の成果・課題	
	①	文化財保護費	生涯学習課	<p>●文化財保護費 文化財の保存・活用を推進する事業が文化庁の補助事業に採択され、実行委員会が主体となり、市内の文化財や歴史文化を紹介するプロジェクトマップ等の事業を実施し、文化財の保存継承及び活用を図った。</p> <p>●「佐竹南家御日記」翻刻事業 読者の探究心に応える取組として、令和4年度発行の第15巻では、購入者から要望のあったCD-ROM版を同梱し、パソコンによる検索に対応した。</p> <p>●郷土の歴史文化推進事業 令和4年度「スケッチワークショップ」を、「願空庵」や「旧雄勝郡会議事堂」などの有形文化財を題材に実施した。児童生徒が普段なじみのない市内の歴史的建造物に触れ、文化財への関心を高める契機となる機会を提供した。</p>	
	②	「佐竹南家御日記」翻刻事業	生涯学習課		
	②	郷土の歴史文化推進事業	生涯学習課		
	③	稲庭城管理運営費	観光・ジオパーク推進課		
	③	郡会議事堂記念館管理運営費	生涯学習課		
	③	院内銀山異人館管理運営費	生涯学習課(雄勝生涯学習センター)		
	③	郷土学習資料展示施設管理運営費	生涯学習課		
	④	ジオサイト学術調査研究事業	観光・ジオパーク推進課		

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
指定等文化財の指定・登録件数	累計	件	169	1 170					180	94.4%	後期新規KPI
無形文化財保持団体(学校郷土芸能クラブを含む)数	累計	件	7	0 7					8	87.5%	後期新規KPI
文化財の保存と活用に関する住民アンケートの回収率	単年度	%	41.0%(R2)	-					50.0	-	後期新規KPI 次回アンケートはR7年度に実施予定
既存展示施設(雄勝郡会議事堂記念館・郷土資料展示施設「ジオスタ☆ゆざわ」・稲庭城・院内銀山異人館)入館者数	単年度	人	11,193	10,506					17,000	61.8%	後期新規KPI
ゆざわジオパークに関する学会発表、論文の総計	累計	件	140	16 156					142	109.9%	

市民満足度調査			R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
			満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
20	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	満足度	29.1%	15								
		重要度	46.5%	31								
24	文化の保護・継承・活用	満足度	29.9%	14								
		重要度	62.3%	23								
		満足度										
		重要度										

基本目標	5. 豊かな自然が輝く安全で暮らしやすいまち	分野	(1) 防災危機対策の推進
施策	① 防災危機管理対策の強化 ③ 消防体制の充実		② 防災意識の高揚
取組概要	市民の命と生活を守るため、自然災害をはじめとした危機に対し、迅速で適切な対応ができるよう防災消防体制を強化するとともに、自主防災組織による自助・共助に関する取組を推進します。		

施策	事業名	担当課所
①	災害時要援護者避難支援ネットワーク構築事業	福祉課
①	湯沢市雄勝郡総合防災訓練事業	総務課
②	防災設備・備蓄品費	総務課
②	防災広報費	総務課
②	自主防災組織推進事業	総務課
③	倒壊家屋等除却推進事業	環境共生課
③	消防団員報酬・装備品費	総務課
③	消防団出動・訓練費	総務課
③	消防施設整備事業	総務課

主な取組の成果・課題	
●災害時要援護者避難支援ネットワーク構築事業	要援護者台帳を最新の状態に保つために、その更新作業（新規登録者の拾い上げ、既登録者情報の見直し、情報集約等）を行った。更新後の台帳登録者数は491人。新規の個別避難計画作成者が頭打ちの状況にある。避難行動要支援者名簿の情報を支援者等に提供しながら、災害リスクの高い地域に居住している方などに対して優先的に個別避難計画を作成していく。
●防災設備・備蓄品費	令和3年3月の防災行政無線の運用から2年を経過するが、より効果的で効率的な情報伝達手段の確立を図っている。有事に備えた防災行政無線施設保守点検、非常用通報装置の保守管理を行っている。また、災害用備蓄品の確保にも努めており、今後も食料品のみならず、備蓄計画に基づく備蓄品の確保に努めていく必要がある。なお令和4年度については、新型コロナウイルス感染症に係る抗原検査キットを購入し、市内小・中学校の教諭、市所管高齢者施設職員等の抗原検査の実施に役立てた。
●自主防災組織推進事業	令和4年度末時点で48組織の自主防災組織が設立され、構成世帯数は、6,197世帯となっている。既組織化の自主防災組織に対しては、組織構成世帯の防災意識を高めるとともに、実効性のある組織となるよう、また円滑な組織運営ができるよう「伴走型の支援」を行っており、今後も継続していく必要があると考える。一方で、未組織化の町内会等に対しては、防災講座、防災研修会や防災訓練の実施の場など、様々な機会を通じて組織化の促進を図るとともに、災害発生時の「自助」・「共助」・「公助」の繋がり的大切さ、組織化の必要性を伝え、防災力の向上を目指していく必要がある。
●消防団員報酬・装備品費	消防団員の処遇改善を図り、令和4年4月より消防団員報酬の見直しを行うとともに、団員一人ひとりの口座への振込を実施している。装備品については防塵マスク、防塵めがね、救命胴衣を個人装備品として配備することで進めている。また、発災時に消防団員が現場で使用する油圧切断機、チェンソー等の機械器具を購入し、今後、訓練等を通じ、実際の現場対応等に役立てていくことになる。
●消防団出動・訓練費	コロナ禍の影響で各種訓練等の中止、規模を縮小しての実施等の2年間を経て、3年ぶりに各種訓練を実施した。今後についても、有事を想定した訓練の継続的な実施、団員一人ひとりの士気高揚、厳正な規律保持に努める。
●消防施設整備事業	消防力のハード面での強化を図り、耐震性貯水槽整備工事実施設計（小野油屋敷地区）、耐震性貯水槽整備工事（秋ノ宮岳ノ下地区）を実施した。また経年劣化に伴う小型動力ポンプ8台分の更新を行った。今後についても、適正な計画に基づき、ハード面の強化を図っていく必要がある。

重要業績評価指標 (KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
危機管理マニュアル件数	累計	件	12	0 12					17	70.6%	後期新規KPI
業務継続計画の策定及び見直し件数	累計	件	2	0 2					4	50.0%	後期新規KPI
自主防災組織率	単年度	%	38.0	39.5					60.0	65.8%	
全人口に対する消防団員数の割合	単年度	%	3.53	3.48					3.50	99.4%	後期新規KPI

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
25	防災危機対策の推進	満足度	36.4%	6							
		重要度	76.0%	6							
		満足度									
		重要度									
		満足度									
		重要度									

基本目標	5. 豊かな自然が輝く安全で暮らしやすいまち	分野	(2) 優れた自然環境の保全
施策	① 清らかな水環境の保全 ③ 環境保護活動の推進		② 豊かな森林空間の保全 ④ 地球温暖化対策の推進
取組概要	身近な自然の豊かさを実感し、その恵みを将来にわたって享受できるよう、環境に対する意識の向上と保護活動に取り組みます。		

施策	事業名	担当課所
①	内水面漁業対策事業	農林課
②	市有林森林整備事業	農林課
②	水と緑の森づくり(緩衝帯等整備)事業	農林課
②	水と緑の森づくり(広葉樹林再生)事業	農林課
②	水と緑の森づくり(ふれあいの森整備)事業	農林課
②	水と緑の森づくり(市町村等の森づくり活動)事業	農林課
②	水と緑の森づくり(マツ林・ナラ林等景観向上)事業	農林課
②	新たな森林管理システム推進事業	農林課
④	地球温暖化対策事業	環境共生課

主な取組の成果・課題	
●水と緑の森づくり(緩衝帯等整備)事業	通学路や主要道路沿いの森林整備(敷払い、枝払い、整理伐等)やクマ等の野生動物との棲み分けを図るための森林整備(緩衝帯等)を実施した。(10/10補助) ○緩衝帯等森林整備業務委託 (除伐54.91ha)
●水と緑の森づくり(ふれあいの森整備)事業	森林浴や健康づくり、野外レクリエーション、自然体験学習の場として、多くの市民が気軽に森林とふれあえる場として利用できる身近な森林の公園化、既存森林公園の再整備を実施し、森林環境や公益性を重視した森づくりを推進する。(10/10補助) ○実施場所:とことん山森林公園 森林整備(針葉樹・広葉樹植栽1.90ha)、森林公園整備工事(歩道L=680m、案内板1基、木製ベンチ9基、安全防護柵L=71m、山頂展望デッキ新設 1式)
●水と緑の森づくり(マツ林・ナラ林等景観向上)事業	秋田県水と緑の森づくり税事業を活用して、森林公園・景勝地など景観維持や安全面から支障となっている枯損した民有林マツ林ナラ林を調査・伐倒処理を実施し、森林環境や公益性を重視した森づくりを図った。(10/10補助) ○マツ林・ナラ林等景観向上事業 民有林ナラ林伐倒処理業務委託 2,227.55㎡ ○マツ林・ナラ林等景観向上事業 民有林ナラ林森林調査業務委託 57.92ha
●新たな森林管理システム推進事業	○森林航空レーザ計測及び森林資源解析業務 雄勝地域 レーザ計測 75.0km ² 、森林資源解析 60.0km ² ○森林境界調査及び森林経営意向調査業務 森林境界調査:雄勝地域秋ノ宮地区 148.77ha、森林経営意向調査:雄勝地域秋ノ宮地区・皆瀬地域350.96ha ○森林想定境界図作成業務委託 雄勝地域秋ノ宮地区 1,662ha
●地球温暖化対策事業	市・市議会・商工団体による4者共同の湯沢市ゼロカーボンシティ宣言や、市役所本庁舎等3箇所への急速充電スポットの整備、公用車5台のCEVへの更新など、地球温暖化対策の取組を進めた。また、事務事業として、令和3年度の市役所全体のエネルギー消費に由来する二酸化炭素排出量は、前年度(令和2年度)との比較では、10.23%の削減となった。 電気・灯油等、施設で使用するエネルギーは施設再編や小学校統合等で減少傾向にあるが、ガソリン・軽油等、公用車に使用するエネルギーはコロナ禍においても、活動の再開が見られたため、増加傾向にある。公用車については今後更なる利用が増えると見込まれるため、CEVへの早急の更新が必要である。

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
河川のBDO値	単年度	mg/L	基準値内	基準値内					基準値内	-	
マツ林・ナラ林等健全化面積	累計	ha	524	58 582					1,200	48.5%	
所有森林に関する経営管理意向調査の進捗率	単年度	%	13.9	16.7					40.0	41.8%	後期新規KPI
市役所(事務事業)におけるエネルギー消費に由来する二酸化炭素排出量	単年度	t-CO ₂	7,105.31	-					6,490.00	-	後期新規KPI R4実績はR5年度に調査予定

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
26	優れた自然環境の保全	満足度	26.8%	19							
		重要度	62.9%	21							
		満足度									
		重要度									
		満足度									
		重要度									

基本目標	5. 豊かな自然が輝く安全で暮らしやすいまち	分野	(3) 安心な生活環境の構築
施策	① 循環型社会の形成と環境衛生の向上 ③ 交通安全対策の充実	② 防犯対策の強化 ④ 市民相談対応の充実	
取組概要	住む人にも環境にも優しい、美しく安心な地域をつくります。		

施策	事業名	担当課所
①	地熱開発推進事業	企画課
①	環境美化対策事業	環境共生課
①	公害対策事業	環境共生課
①	ごみ処理対策事業	環境共生課
②	防犯対策事業	環境共生課
③	交通安全対策総務費	環境共生課
③	交通安全施設維持管理費	環境共生課
④	空家等対策事業	環境共生課
④	消費生活相談事業	環境共生課

主な取組の成果・課題
<p>●地熱開発推進事業 各地熱開発地域に設置している協議会を運営し、本市に賦存する地熱資源の活用について理解促進を図ったほか、国や県のシンポジウムや先進地視察に参画し、全国の事例や最新の情報を収集した。 今後は、地熱開発の理解促進に努めることに加えて、地熱開発に意欲ある民間事業者から相談があった場合には、周辺環境への影響に配慮しつつ、可能な限り支援に努める。</p> <p>●ごみ処理対策事業 【成果】 ○1人1日当たりごみ排出量962g/人/日、1人1日当たり家庭系ごみ排出量555g/人/日(R5.3末人口) ○資源ごみ集団回収により、年間約124tほどのゴミのリサイクル化を推進した。 ○廃食用植物精油回収し、バイオディーゼル燃料へリサイクルを推進した。 【課題】 ○粗大ごみステッカーの窓口での販売受付に時間を要する。 ○1人1日当たりごみ排出量や1人1日当たり家庭系ごみ排出量を算出するにあたり、分子となるごみの量が、コロナ禍により家庭での片づけ等で増え、分母となる湯沢市の人口が減り続けているので、削減目標から離れて行っている。</p> <p>●空家等対策事業 【成果】 ○特定空家等解体撤去資金助成事業交付実績：R3 13件 6,464千円、R4 11件 5,069千円 ○倒壊家屋(一部倒壊含む)の発生件数：H29 4件、H30 4件、R1 0件、R2 16件、R3 4件、R4 3件 【課題】 空家家相続者等の管理意識の低下による管理不全空き家の増加を抑制するため、空き家所有者の意識改革が必要である。また、特定空家等の基準が高く、わずかに基準に満たない特定空家等予備群が多いことから、基準未達の空き家に対するアプローチが必要である。</p>

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
リサイクル率	単年度	%	14.7	14.8					20.0	74.0%	
犯罪件数	単年度	件	98	106					県平均以下	76.2%	達成率はR4県平均(80.79件)に対するもの
交通事故死者数	単年度	人	2	1					0	-	後期新規KPI
交通事故重症者数	単年度	人	5	11					9	81.8%	後期新規KPI
消費者トラブル啓発活動実施件数(講演会、出前講座等)	単年度	件	32	49					43	114.0%	

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
27	安心な生活環境の構築	満足度	44.8%	2							
	重要度	77.9%	4								
		満足度									
		重要度									
		満足度									
		重要度									

基本目標	5. 豊かな自然が輝く安全で暮らしやすいまち	分野	(4) 都市基盤の整備
施策	① 計画的な土地利用と市街地整備の促進	② まちの動脈となる交通体系の整備と利用促進	
	③ 雪国の安心な暮らし対策の充実	④ 社会インフラの充実	
取組概要	人口減少が進む中でまちを機能的に維持するため、まちを支える道路、上下水道等の社会基盤について計画的かつ適正に整備を行い、生活の質の向上を図ります。		

施策	事業名	担当課所
①	湯沢駅周辺複合施設等整備事業	企画課
②	生活バス路線運行対策事業	企画課
②	道路メンテナンス事業(点検補修)	建設課
②	単独道路整備事業	建設課
②	道路メンテナンス事業(改築更新)	建設課
②	道の駅おがち「小町の郷」周辺整備事業	建設課
③	冬期交通対策費	建設課
③	克雪住宅推進事業	都市計画課
④	新皆瀬庁舎整備事業	財政課
④	水道事業・下水道事業	上下水道課

主な取組の成果・課題
<p>●湯沢駅周辺複合施設等整備事業 令和4年5月に本事業のコンセプトや導入する機能・規模、事業手法などを整理した「湯沢駅周辺複合施設整備事業基本計画」を策定し、市民サービスの向上や財政削減効果が期待できるPPP/PFI手法(DBO方式)により事業を推進することとした。民間事業者の募集・選定に当たっては、市民会議や事業者選定会議の開催、参入意欲のある事業者との直接対話等を重ね、令和5年1月に公募を開始した。</p> <p>●道の駅おがち「小町の郷」周辺整備事業 東北中央自動車道「横堀道路」の令和7年度開通予定に合わせ、道の駅おがち「小町の郷」の周辺整備が計画どおり進捗している。 ○測量・道路詳細設計業務委託 【11,243千円】 委託費 計画延長 L=0.52Km ○建物等調査算定業務委託 【1,982千円】 委託費 木造建物調査ほか ○用地測量業務委託 【7,444千円】 委託費 境界測量ほか A=27,700㎡</p> <p>●克雪住宅推進事業 克雪化改修工事、雪下ろし安全対策工事に対する補助金の交付により、住環境における雪対策工事を推進し、雪下ろしの負担軽減や作業中の安全確保、危険防止を図った。令和4年度の補助金の利用状況は良好であったが、今後も克雪住宅を推進していくために事業の周知や制度の見直しを図る必要がある。</p> <p>●新皆瀬庁舎整備事業 皆瀬開発総合センター北側に、皆瀬地域のまちづくりを牽引する地域拠点として、行政窓口、防災、地域づくり支援、生涯学習、健康増進、医療及びその他の公共的サービスを集約した皆瀬庁舎を整備する。令和4年3月に新庁舎の本体工事に着手し、令和4年度は皆瀬開発総合センター解体工事実施設計、防災行政無線移設、情報通信配線工事、水道移設、電気通信設備移設を実施した。新庁舎の開庁は令和5年9月を予定している。</p> <p>●水道事業・下水道事業 <水道> 湯沢地区の上水道給水区域漏水調査(発見漏水箇所84件)を行い、漏水の早期発見により、有収率の向上に努めた。 <下水道> 国の循環型社会形成推進交付金事業により、合併処理浄化槽40基の整備を行った。水洗化率は目標値を上回っているが、水洗化人口と下水道使用料収入が年々減少しており、施設等の維持管理や改築更新・修繕費用の確保が課題となっている。</p>

重要業績評価指標(KPI)	単年度累計	単位	前期実績 R3	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R8	達成率 R4/R8	備考
				R4	R5	R6	R7	R8			
居住誘導区域内の住宅新築(改築を含む)戸数	単年度	戸	29	18					18	100.0%	後期新規KPI
将来の移動に不安を感じている人の割合	単年度	%	57.7	63.2					30.0	52.6%	市民満足度調査
道路除排雪の満足度	単年度	%	39.8	38.6					60.0	64.3%	市民満足度調査
水道有収率	単年度	%	83.5	83.2					90.0	92.4%	
水洗化率	単年度	%	73.6	74.1					72.1	102.8%	

市民満足度調査		R4(R5調査)		R5(R6調査)		R6(R7調査)		R7(R8調査)		R8(R9調査)	
		満足度重要度	順位(32)	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位	満足度重要度	順位
28	計画的な土地利用と市街地整備の推進	満足度	21.9%	26							
		重要度	62.9%	21							
29	公共交通の整備と利用促進	満足度	27.2%	18							
		重要度	74.1%	9							
30	まちの動脈となる道路等の整備	満足度	30.4%	13							
		重要度	73.2%	10							
31	道路等除排雪体制の充実	満足度	38.6%	5							
		重要度	88.5%	1							
32	社会インフラの充実	満足度	33.2%	12							
		重要度	68.7%	13							

重要業績評価指標(KPI)一覧

基本構想		基本計画		単位	前期実績 (R3)	単年度 累計	実績値 (R4)	目標値 (R8)	達成率 R4/R8	備考		
目標	分野	重要業績評価指標(KPI)										
第1章 みんなの信頼で築く丈夫なまち	第1節 共創・協働によるまちづくりの推進	①	まちづくりコーディネーター育成数	人	7	単年度 0	17	41.2%				
				累計	7							
		②	新たな仕組みによりまちづくりに取り組む地区数	地区	-	単年度	3	2	150.0%	後期新規KPI		
				累計								
		③	地域課題解決のための官民連携件数	件	12	単年度	5	20	85.0%			
				累計	17							
		④	委員が男女とも4割以上任命又は委嘱されている審議会等の割合	%	40.0	単年度	41.7	40.0	104.3%			
	累計											
	⑤	移住世帯数 ※移住登録制度に登録されている世帯数	世帯	59	単年度	12	80	88.8%				
			累計	71								
	⑥	ふるさと納税を活用したGCFによる起業支援数	件	1	単年度	0	6	16.7%	後期新規KPI			
			累計	1								
	⑦	湯沢市でテレワーク（ワーケーション）に取り組む事業所数	事業所	2	単年度	1	5	20.0%	後期新規KPI			
			累計	1								
	第2節 信頼を築き共感を集める戦略的広報の実現	①	市の情報発信の満足度	%	33.2	単年度	42.4	40.0	106.0%	市民満足度調査		
				②	市公式SNS（Facebook、Twitter、LINE）の登録者数	件	3,692	単年度	4,128	4,000	103.2%	後期新規KPI 各年度につき翌年度4月1日時点の数値
						累計						
	③	ゆざわPR隊登録者数	人	47	単年度	19	100	66.0%	後期新規KPI			
			累計	66								
	第3節 公共サービスの質的向上と最適化	①	新たに民間活力を活用した件数	件	1	単年度	3	10	40.0%	後期新規KPI		
				累計	4							
		②	職員研修受講者数	人/年	365	単年度	451	370	121.9%	後期新規KPI		
	③			公共施設延べ床面積	m ²	296,121	単年度	285,615	264,000	92.4%		
	第4節 強固で柔軟な財政基盤の確立	①	自主財源比率	%	28.4	単年度	27.8	増加	-			
				②	地方債現在高（普通会計）	億円	310	単年度	302	287.00	95.0%	後期新規KPI
						③	公営企業会計（上水、下水）に対する経常的補助金	億円	8.48	単年度	8.61	8.41

重要業績評価指標(KPI)一覧

基本構想		基本計画		単位	前期実績 (R3)	単年度 累計	実績値 (R4)	目標値 (R8)	達成率 R4/R8	備考
目標	分野	重要業績評価指標(KPI)								
第2章 健康と暮らしを共に 支え合う笑顔があふれるまち	第1節 共助社会の構築と 社会保障の充実	①	市内グループホーム設置数	箇所	14	単年度	14	16	87.5%	各年度3月31日時点の 数値
		②	地域生活支援事業利用者数	人/年	445	単年度	479	560	85.5%	
		③	福祉施設から一般就労移行者数	人/年	4	単年度	5	10	50.0%	
		④	他機関が連携した包括的な支援機関数	箇所	0	単年度	0	3	0.0%	後期新規KPI
					累計	0				
	第2節 結婚・子育てに 優しいまちの実現	①	あきた結婚支援センターへの新規登録者数	人	12	単年度	3	100	3.0%	後期新規KPI 実績値は市の登録料 補助制度の利用者数
						累計	3			
		②	合計特殊出生率	-	1.07	単年度	1.00	1.45	69.0%	R2国勢調査の人口に 住基上の人口減少率 を乗じた値をもとに 算出
		③	出生数に占める第3子以降の割合	%	19.9	単年度	20.8	全国水準 と同水準	119.5%	達成率はR4全国平均 (17.4%) に対する もの
	第3節 心身が健康で活 力あるまちの実現	④	子育て環境や支援に満足している人の割合	%	29.7	単年度	26.2	50.0	52.4%	市民満足度調査
		①	特定健康診査受診率	%	47.0	単年度	48.1	57.0	84.4%	
		②	特定保健指導終了者の割合	%	15.8	単年度	9.6	26.0	36.9%	
	第4節 充実した長寿生 活の実現	③	自殺による死亡率(人口10万人対)	人	18.8	単年度	21.9	減少	-	R2実績11.9人からの 減少が目標
		①	要介護要支援認定率	%	18.8	単年度	19.2	19.0	99.0%	
	第5節 安心して医療 サービスが受け られるまちの構 築	②	介護保険料収納率(普通徴収・現年度分)	%	93.4	単年度	93.9	93.5	100.4%	
		①	湯沢雄勝医療圏の医師数(人口10万人対)	人	135.4 (R2)	単年度	-	県平均 (秋田市 周辺を除く)	-	R4実績値はR6.3月に 公表見込
		②	国民健康保険後発医薬品割合(数量シェア)	%	83.5	単年度	83.4	増加	-	R2実績83.2%からの 増加が目標

重要業績評価指標(KPI)一覧

基本構想		基本計画		単位	前期実績 (R3)	単年度 累計	実績値 (R4)	目標値 (R8)	達成率 R4/R8	備考
目標	分野	重要業績評価指標(KPI)								
第3章 ふるさとの技が光る、 存在感あふれるまち	第1節	産業基盤の充実・強化	①	ほ場整備面積（事業化面積）	ha	24.5	単年度 0.0 累計 24.5	95.0	25.8%	
			②	再造林面積	ha	32.5	単年度 21.8 累計 21.8	40.0	54.5%	実績値・達成率は5年累計による
	第2節	競争力のある質の高いものづくりと流通対策の強化	①	納税義務者1人当たりの課税対象所得	千円	2,462	単年度 2,552	県平均以上	90.4%	達成率はR4県平均(2,822千円)に対するもの
			②	主な園芸作物の販売額	百万円/年	1,075	単年度 966	1,814	53.3%	JAこまち青果物販売実績により把握
			③	地域産材使用量	m	550	単年度 81 累計 631	1,300	48.5%	
			④	食料品・飲料品等の製造業出荷額	百万円/年	10,894	単年度 -	14,435	-	国調査により把握するが、R4実績値未公表
			⑤	伝統的地場産業等の新商品開発件数	件	12	単年度 2 累計 2	20	10.0%	実績値・達成率は5年累計による
	第3節	訪れたいくなる動機付けと観光交流人口の拡大	①	観光入込客数	人/年	460,676	単年度 861,591	1,300,000	66.3%	
			②	宿泊者数（総数）	人/年	103,232	単年度 96,153	120,000	80.1%	
			③	宿泊者数（外国人）	人/年	7	単年度 175	1,855	9.4%	
			④	観光PR動画の発信件数	件	4	単年度 2 累計 2	5	40.0%	後期新規KPI実績値・達成率は5年累計による
	第4節	多様な人材育成と就労環境の充実	①	新規就農者数	人	33	単年度 1 累計 34	80	42.5%	
			②	新たな企業誘致件数	件	1	単年度 0 累計 0	2	0.0%	実績値・達成率は5年累計による
			③	市内における起業・新事業展開件数	件	31	単年度 4 累計 4	50	8.0%	実績値・達成率は5年累計による
			④	UIJターンによる起業数	件	4	単年度 1 累計 5	10	50.0%	

重要業績評価指標(KPI)一覧

基本構想		基本計画		単位	前期実績 (R3)	単年度 累計	実績値 (R4)	目標値 (R8)	達成率 R4/R8	備考
目標	分野	重要業績評価指標(KPI)								
第4章 あたたかな心と豊かな文化で人が集うまち	第1節	交流の活性化	①	農業による産地交流参加者数	人	597	単年度 149 累計 746	850	87.8%	
				②	ジオガイド利用者数	人	2,905	単年度 1,765	2,500	70.6%
			③	市民応援隊『ゆざわジオパークかだり隊』の登録事業者総数	事業所	47	単年度 4 累計 51	50	102.0%	
				④	「農山村交流及び国際交流の活性化」に対する市民満足度	%	16.6	単年度 17.6	20.0	88.0%
	第2節	学校教育の充実	①	学校が楽しい ※学校生活意識調査による回答（「当てはまる」の回答率）	%	63.7	単年度 63.0 66.8	72.9	86.4%	後期新規KPI 小学6年生の回答
				60.8	74.8	89.3%		後期新規KPI 中学3年生の回答		
			②	みんなで何かするのは楽しい ※学校生活意識調査による回答（「当てはまる」の回答率）	%	76.7	単年度 78.8 72.8	86.4	91.2%	後期新規KPI 小学6年生の回答
				77.5	82.0	88.8%		後期新規KPI 中学3年生の回答		
			③	授業に主体的に取り組んでいる ※学校生活意識調査による回答（「当てはまる」の回答率）	%	60.2	単年度 59.3 59.2	66.4	89.3%	後期新規KPI 小学6年生の回答
				54.6	69.8	84.8%		後期新規KPI 中学3年生の回答		
	④	中学校卒業までの英検3級以上取得率	%	43.4	単年度 48.7	60.0	81.2%			
	第3節	生涯学習の推進	①	地域課題の解決に向けた講座参加者数	人	413	単年度 265	200	132.5%	後期新規KPI
				②	生涯学習人材バンクの活用件数	件	58	単年度 85	100	85.0%
			③	本を読むことについて「好き」な児童・生徒の割合	%	61.6	単年度 74.0 48.7 40.2	73.0	101.4%	後期新規KPI 小学2年生の回答
					48.6	55.0		88.5%	後期新規KPI 小学5年生の回答	
					47.5	35.0		114.9%	後期新規KPI 中学2年生の回答	
			④	1か月間に読んだ本の冊数が0冊の児童・生徒の割合	%	2.2	単年度 3.5 1.3 14.2	0.0	96.5%	後期新規KPI 小学2年生の回答
					0.7	0.0		98.7%	後期新規KPI 小学5年生の回答	
	5.4	10.0	95.3%	後期新規KPI 中学2年生の回答						
	⑤	音楽のまち「ゆざわ」関連イベントへの参加者数	人/年	10,520	単年度 19,152	18,000	106.4%			
	第4節	スポーツ活動の推進	①	週1日以上運動・スポーツをした人の割合（20歳以上）	%	63.0	単年度 47.9	65.0	73.7%	後期新規KPI
			②	スポーツ施設利用者数	万人/年	15.5	単年度 14.8	20	74.0%	
			③	スポーツイベント開催件数	件/年	3	単年度 5	10	50.0%	後期新規KPI
	第5節	文化の保護・継承・活用	①	指定等文化財の指定・登録件数	件	169	単年度 1 累計 170	180	94.4%	後期新規KPI
					②	無形文化財保持団体（学校郷土芸能クラブを含む）数	件	7	単年度 0 累計 7	8
			③	文化財の保存と活用に関する住民アンケートの回収率	%	-	単年度 -	50.0	-	後期新規KPI 次回アンケートはR7年度に実施予定
			④	既存展示施設（雄勝郡会議事堂記念館・郷土資料展示施設『ジオスタ☆ゆざわ』・稲庭城・院内銀山異人館）入館者数	人/年	11,193	単年度 10,506	17,000	61.8%	後期新規KPI
			⑤	ゆざわジオパークに関する学会発表、論文の総計	件	140	単年度 16 累計 156	142	109.9%	

重要業績評価指標(KPI)一覧

基本構想		基本計画		単位	前期実績 (R3)	単年度 累計	実績値 (R4)	目標値 (R8)	達成率 R4/R8	備考	
目標	分野	重要業績評価指標(KPI)									
第5章 豊かな自然が輝く安全で暮らしやすいまち	第1節	防災危機対策の推進	①	危機管理マニュアル件数	件	12	単年度 0 累計 12	0	17	70.6%	後期新規KPI
			②	業務継続計画の策定及び見直し件数	件	2	単年度 0 累計 2	4	50.0%	後期新規KPI	
			③	自主防災組織率	%	38.0	単年度	39.5	60.0	65.8%	
			④	全人口に対する消防団員数の割合	%	3.53	単年度	3.48	3.50	99.4%	後期新規KPI
	第2節	優れた自然環境の保全	①	河川のBOD値	mg/L	基準値内	単年度	基準値内	基準値内	-	
			②	マツ林・ナラ林等健全化面積	ha	524	単年度 58 累計 582	1,200	48.5%		
			③	所有森林に関する経営管理意向調査の進捗率	%	13.9	単年度	16.7	40.0	41.8%	後期新規KPI
			④	市役所(事務事業)におけるエネルギー消費に由来する二酸化炭素排出量	t-CO2	7,105.31	単年度	-	6,490.00	-	後期新規KPI R4実績はR5年度に調査予定
	第3節	安心な生活環境の構築	①	リサイクル率	%	14.7	単年度	14.8	20.0	74.0%	
			②	犯罪件数	件/年	98	単年度	106	県平均以下	76.2%	達成率はR4県平均(80.79件)に対するもの
			③	交通事故死者数	人/年	2	単年度	1	0	-	後期新規KPI
			④	交通事故重傷者数	人/年	5	単年度	11	9	81.8%	後期新規KPI
			⑤	消費者トラブル啓発活動実施件数(講演会、出前講座等)	回/年	32	単年度	49	43	114.0%	
	第4節	都市基盤の整備	①	居住誘導区域内の住宅新築(改築を含む)戸数	戸/年	29	単年度	18	18	100.0%	後期新規KPI
			②	将来の移動に不安を感じている人の割合	%	57.7	単年度	63.2	30.0	52.6%	市民満足度調査
			③	道路除排雪の満足度	%	39.8	単年度	38.6	60.0	64.3%	市民満足度調査
			④	水道有収率	%	83.5	単年度	83.2	90.0	92.4%	
			⑤	水洗化率	%	73.6	単年度	74.1	72.1	102.8%	

重要業績評価指標(KPI)		KPI設定 基準値(R2)	単位	単年度 累計	実績値 (R3)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	達成率	説明	指標値の把握	
基本目標											
1	ア. 人口に関する目標	人口減少の抑制	42,096	人	単年度	41,188	40,225	39,441	98%	国勢調査実施年度以外は、秋田県年齢別人口流動調査結果による人口を記載。(R4.10.1現在)※目標値に対してのR4計算値=41,034人	定住自立圏共生ビジョン
	イ. 市民満足度向上に関する目標	今後も湯沢市に住みつづけたいと思う割合の増加	66.5	%	単年度	64.2	61.0	72.0	85%	20代以上は「他のところに移りたい」よりも「住みつづけたい」の割合が多い一方、10代は「他のところに移りたい」の割合が多い。	市民満足度調査
持続的発展 施策区分											
2	移住・定住・地域間交流の促進、 人材育成	移住世帯数の増加(累計)	48	世帯	単年度	15	12	50	54%	主に首都圏からの本市との繋がりをもちたい方々との繋がりが関わりや関わりを促進するゆざわローカルアカデミー(第4期生)を開催した。また、人出不足に悩む市内事業者と地域との交流機会を求め、市外在住者のマッチング支援を行った。奨学金返還助成制度では、奨学金返済をしている社員を支援する事業所に対しても助成金を交付した。	総合振興計画
					(R3~ R7) 累計	15	27				
3	産業の振興	観光地点等入込客数の増加	635,964	人	単年度	460,676	861,591	1,300,000	66%	湯沢の魅力PRのための番組を制作しBSおよび東北圏の地上波で放送するとともに、出演者等のSNSにより情報発信を行った。	総合振興計画
4	地域における情報化	市内の光ファイバ網カバー率向上	92.6	%	単年度	100	100	100	100%	光ファイバー等伝送路設備などを整備する通信事業者に支援し、市内の全地域でインターネットを高速で利用できる環境が整っている。	デジタル情報推進班
5	交通施設の整備、交通手段の確保	公共交通の整備と利用促進に関する満足度の割合の増加	23.5	%	単年度	26.9	27.2	29.0	94%	20代及び60代以上は「満足」の割合が「不満」の割合を上回っているが、それ以外の年代は「不満」の割合が上回っており、中でも50代ではその差が20%ほどとなっている。	市民満足度調査
6	生活環境の整備	下水道処理施設の普及率の向上	76.1	%	単年度	76.8	77.5	79.8	97%	毎年度、国、県に報告している下水道等普及状況調査の値を記載(R5.3.31現在)	湯沢市生活排水処理整備構想
7	子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成に対する満足度の割合の増加	40.1	%	単年度	37.4	36.2	46.0	79%	どの年代においても「満足」の割合が「不満」の割合を上回っているが、30代と40代の「不満」の割合が他の年代に比べて多い。	市民満足度調査
8	医療の確保	地域医療体制の確立と経済的負担軽減に関する満足度の割合の増加	36.3	%	単年度	38.9	39.4	42.0	94%	ほとんどの年代においても「満足」の割合が多いが、50代においては「不満」の割合が「満足」の割合を上回っている。	市民満足度調査
9	教育の振興	学校教育の充実に関する満足度の割合の増加	29.9	%	単年度	35.2	34.5	35.0	99%	どの年代においても「満足」の割合が多いが、30代と40代の「不満」の割合が他の年代に比べて多い。	市民満足度調査
10	集落の整備	まちづくりコーディネーター数(累計)	7	人	単年度	0	0	17	41%	地域自治組織や中間支援を担う市民活動団体、地域づくりに意欲のある市民及び市職員を対象に、まちづくり人材育成セミナー(49人参加)を実施した。また、新潟県内で開催された地域づくりコーディネーター養成講座に2名を派遣した	総合振興計画
					(~R7) 累計	7	7				
11	地域文化の振興等	湯沢市に愛着や誇りを持っている人の割合の増加	71.5	%	単年度	72.3	68.6	77.0	89%	どの年代においても「持っている」の割合が多いものの、10代、40代および50代においては「持っていない」の割合が30%以上となっている。	市民満足度調査
12	再生可能エネルギーの利用の推進	再生可能エネルギー出力数の増加	75,054	kw	単年度	75,054	75,054	77,054	97%	【地熱発電所】上の岱28,800Kw、山葵沢46,199Kw 【太陽光】55kw	定住自立圏共生ビジョン
13	その他地域の持続的発展に関し必要な事項	優れた自然環境の保全に対する満足度の割合の増加	24.8	%	単年度	29.0	26.8	30.0	89%	どの年代においても「満足」の割合が多いが、60代の「不満」の割合が他の年代に比べて多い。	市民満足度調査

湯沢市過疎地域持続的発展計画について（概要）

1 策定の背景

少子・高齢化や都市圏への人口流出など、地方の人口減少は歯止めがかからず、さらに新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の活力は著しく低下しています。

このような中、これまでの「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月31日をもって期限を迎えたことから、過疎地域における持続可能な地域社会の形成や地域資源等を活用した地域活力のさらなる向上の実現を目指して、令和3年4月に「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」（以下「過疎法」）が施行されました。

持続可能な地域社会の形成
地域資源を活用した地域活性化



地域の持続的発展

《過疎地域指定の基本的要件》

過疎計画を策定（過疎地域に認定）するためには、人口減少率と財政力指数の2つの要件を満たす必要がありますが、本市はいずれの要件も満たしています。

	要件	湯沢市
人口減少率	昭和50年から平成27年（40年間）の人口減少率が 23%以上	29.7%
財政力指数	0.51以下	0.30

※財政力指数は財政の豊かさを示す指標で、高いほど財政に余裕がある状態を指します。
(R3計画策定時点)

2 策定の方針

総合振興計画等に示される評価指標等を用いて「湯沢市過疎地域持続的発展計画本計画」を策定し、本計画に盛り込まれた施策を効果的に実施することを通して、湯沢市の安定的かつ継続的な地域社会の維持に努めるとともに持続的な発展を目指します。

3 計画期間

令和3年度から令和7年度までの5年間

4 基本方針

第2次湯沢市総合振興計画の将来像「人のつながりで磨かれる、熱(エネルギー)あふれる美しいまち」を本計画においても同様に掲げ、移住・定住施策の促進、関係人口の創出・拡大をはじめとする人口減少に備えた施策の強化 及び 次世代を担う若者世代の人材育成施策を推進します。

5 基本目標及び具体的な施策

基本方針を踏まえ、過疎法で示された各項目について評価指標（目標値）を設定するとともに、以下のとおり具体的な取組を行います。

《全体目標》

ア 人口に関する目標

イ 市民満足度に関する目標

《各分野別目標》

- ①移住・定住・地域間交流の促進、人材の育成
- ②産業の振興
- ③地域における情報化
- ④交通施設の整備、交通手段の確保
- ⑤生活環境の整備
- ⑥子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進
- ⑦医療の確保
- ⑧教育の振興
- ⑨集落の整備
- ⑩地域文化の振興等
- ⑪再生可能エネルギーの利用の推進
- ⑫その他地域の持続発展に関し必要な事項

6 過疎法に基づく国の支援策

計画策定において、主な支援措置は以下のとおりです。

- (1)過疎対策事業債の発行（充当率100%、元利償還金の70%を普通交付税により措置）
- (2)国庫補助率のかさ上げ（教育施設、児童福祉施設などの整備）
- (3)国税の減価償却の特例（設備投資を行った際の建物等の資産について、通常の償却額に加え、取得価額の一定割合を損金に計上）
- (4)地方税の減収補てん措置（事業用資産の取得等において、条例に基づき課税免除を行った場合、地方税の減収分の75%を普通交付税で措置）

7月31日の審議会では、計画策定時に設定した「5 基本目標及び具体的な施策」の評価指標（目標値）について、令和4年度の進捗状況をご報告いたします。詳細については、湯沢市過疎地域持続的発展計画をご確認ください。